

統計数理研究所  
研究リポート75

# 国民性の研究 第9回全国調査

— 1993年全国調査 —

1994年 3 月

統計数理研究所

当研究所では,

*Annals of the Institute of Statistical Mathematics*

統計数理

*Computer Science Monographs*

*Research Memorandum*

統計数理研究所研究リポート

*ISM Reports on Statistical Computing*

統計数理研究所共同研究リポート

を発行している。統計数理研究所研究リポートは、研究調査のデータの発表を目的とし、必要に応じて発行する。

**All rights reserved. No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopy, recording, or any information storage and retrieval system, without permission in writing from the institute.**

統計数理研究所

東京都港区南麻布 4-6-7

電話 03-3446-1501

# 目 次

I	概 要 .....	1
§ 1	研究の経過 .....	1
§ 2	調査実施の概要 .....	2
§ 3	文献と資料 .....	8
II	質問文と集計表 .....	25
	集計表の見方 .....	25
§ 1	基本項目 .....	27
§ 2	個人的態度 .....	35
§ 3	宗 教 .....	52
§ 4	子 供・家 .....	55
§ 5	身近な社会 .....	60
§ 6	男女の差異 .....	73
§ 7	一般の社会的問題 .....	76
§ 8	政治的態度 .....	86
§ 9	日本人・人種 .....	94
III	質問項目一覧表 .....	101

# I 概 要

このレポートは、統計数理研究所国民性調査委員会が5年ごとに実施している「国民性調査」の第9回全国調査(1993年10月実施)の結果を単純集計の形でまとめたものである。

比較のため、今回調査した質問についての過去の結果も掲げてある。

詳細な分析結果は統計数理研究所の『統計数理』や *Annals of the Institute of Statistical Mathematics* などに発表される予定である。

## § 1 研究の経過

### 1. 研究経過

国民性の研究は1953年(昭和28年)に第1回の全国調査を行ない、以後5年ごとに全国調査を行なっている。したがって、今回(1993年)は9回目に当たり、初回から数えて40年目の調査である。

これらの全国調査はすべて全国民(20歳以上の有権者)を対象にする標本調査であり、各回ともそれぞれ層別多段サンプリングで3,000~6,000名の対象者を抽出し、個別面接聴取法で実施している。調査項目は毎回共通して使用している質問が多いが、昭和48年(1973年)の第5次以降の調査では、それまで継続してきた調査項目を主とする調査票(K型とよぶ)と、新規の調査項目に重きを置く調査票(M型とよぶ)との2種類の調査票を用いている。

なお、5年ごとの全国調査のほかに関連する多くの調査をおこなっている。それらの調査もそれぞれ独立の調査であると同時に、相互に比較・参照できるよう企画されている。

### 2. 調査方法と調査項目の選定

面接調査という調査方法の制約はあるが、調査項目の選定に当たっては、できるだけ広い範囲から国民性の特徴をよく表わす題材を選ぶようにしている。

調査項目の選定手順の概略はつぎのようである。

まず、国民性に言及している内外の文献や資料から、日本人の性質、態度、特徴とみられるものを収集し整理する。つぎに、これらの事項から面接調査に適するような質問項目を作成する。最後に質問全体の構成を吟味して、調査票にまとめる。

なお、質問項目は、各種のプリテストや吟味調査で検討を加えるとともに、何回もくり返して調査に用い、その性質を確かめるよう努めている。

### 3. 第9次全国調査の調査項目

今回の調査のねらいは大別して2つある。第一は、40年来の継続質問によって、日本人の“ものの考え方”の変化の様相を明らかにすることであり、第二は、従来との継続を図りながら、将来の新しい動向を探り、それに備えることである。

なお、今回の調査では、K型調査票とM型調査票の2種類の調査票を用いたが、両者とも、従来の継続質問と新しい質問の双方を含んでいる。ただし、K型調査票はM型に比べると長期にわたる継続質問の割合が大きくなっている。

K型とM型にわけるのは、一人の対象者にかかる負担(面接時間の長さ)を軽減するためである。調査に当たっては、サンプルを二分し、奇数のサンプル番号の対象者にはK型調査票を、偶数のサンプル番号の対象者にはM型調査票を用いた。

## § 2 調査実施の概要

### 1. サンプル

基本的な方針は第8次全国調査と同じである(『第5日本人の国民性』483頁参照)。すなわち、全国の市区町村を、地方性および人口規模を考慮して層別し、各層より合計300地点を選ぶものとし、まず市区町村を確率比例抽出で選ぶ(第1段サンプリング)。ついで、選んだ各市町村から投票区を同じように確率比例抽出で選ぶ(第2段サンプリング)。最後に、抽出した投票区の有権者名簿より、その地点に割り当てた人数(平均18)のサンプルを等間隔抽出法で選んだ(第3段サンプリング)。計画サンプル数は全国で5,400人である(表1「第9次日本人の国民性調査 サンプリング」参照)。

## 2. 調査の実施

第3段目の有権者個人のサンプリングと面接調査の実施は社団法人 中央調査社に委託し、調査は1993年10月初旬に実施した。

調査員は、最初に担当地点の市・区役所、町・村役場いき、指示された方法で選挙人名簿からサンプルを抽出した。つぎに、サンプルとなった対象者の家を訪問して対象者本人に会い、調査票どおりの質問をし、対象者の回答を調査票に記録した(個別面接聴取法)。

この結果、最終的な回収サンプル数はK型調査票1,833、M型調査票1,905、合計3,738で、これは計画サンプル数5,400の69%に当たる。

なお、調査不能の詳細は表2、表3、表4に示されているので参照されたい。

第9次全国調査の実施では、つぎの方々のご協力を得た。

まず質問文の作成に関しては、海野道郎氏(東北大)にご協力いただいた。また、調査の準備から研究レポート作成までの、この調査研究の全ての作業を竹内寿美子さんに担っていただいた。さらに、回収データの点検作業等では室山喜美子さん、忽那映子さん、坪井 薫さんにご支援いただいた。これらの方々心からお礼申し上げたい。

今回の調査委員は、坂元慶行(委員長)、駒澤 勉、鈴木義一郎、高木廣文、村上征勝、馬場康維、中村 隆、吉野諒三(以上、統計数理研究所)である。ほかに、林 知己夫(統計数理研究所名誉教授)、西平重喜(統計数理研究所名誉所員、現上智大学教授)、鈴木達三(統計数理研究所名誉教授)の三氏のご支援を得た。

なお、この研究レポートの作成には坂元慶行と中村 隆が当たった。

表 1 「第 9 次 日本人の国民性調査」サンプリング

計 画 サ ン プ ル 総 数 = 5,400

計 画 地 点 総 数 = 300

1 地点あたりサンプル数 = 18

1 地点あたり母集団人口 = 309,430

層 コード	層 名 称	母集団人口 (有権者)	地点総数	割 当 地点数	割当サン プル数
	《全 国 計》	92,829,141	3,289	300	5,400
1. K-00	区 部	20,706,816	148	67	1,205
S	〈市 部 計〉	51,260,137	640	166	2,982
2. S-01	人口 20 万人以上の市	22,871,152	89	74	1,330
3. S-02	人口 20 万人未満の市	28,388,985	551	92	1,652
4. G-00	郡 部	20,139,586	2,473	65	1,171
5. O-00	沖 縄 県	722,602	28	2	42

表 2 調査不能の理由

		死 亡	移 転	該 当 者 な し	尋 ね 当 ら ず	長 期 不 在	病 気	一 時 不 在	拒 否	老 衰	そ の 他	計
K	%	0	11	1	2	6	5	31	43	1	0	100
	実数	2	93	8	17	51	43	267	369	8	4	862
M	%	0	10	3	2	6	4	35	40	0	1	101
	実数	1	77	21	14	50	32	276	321	3	5	800
計	%	0	10	2	2	6	5	33	42	1	1	102
	実数	3	170	29	31	101	75	543	690	11	9	1,662



表 3 性別・年齢別サンプル、不能率

		性 別		年 齢 別											計
		男	女	20 1 24	25 1 29	30 1 34	35 1 39	40 1 44	45 1 49	50 1 54	55 1 59	60 1 64	65 1 69	70 1	
K	集 計 サンプル	836	997	124	141	148	158	229	222	179	177	188	128	139	1,833
	不 能 サンプル	496	366	109	96	73	72	113	97	87	63	59	39	54	862
	不 能 率	37	27	47	41	33	31	33	30	33	26	24	23	28	32
	計 画 サンプル	1,332	1,363	233	237	221	230	342	319	266	240	247	167	193	2,695
	%	49	51	9	9	8	9	13	12	10	9	9	6	7	101

		性 別		年 齢 別											計
		男	女	20 1 24	25 1 29	30 1 34	35 1 39	40 1 44	45 1 49	50 1 54	55 1 59	60 1 64	65 1 69	70 1	
M	集 計 サンプル	888	1,017	137	122	167	169	222	221	197	187	196	126	161	1,905
	不 能 サンプル	468	332	112	93	65	63	82	94	85	73	55	36	42	800
	不 能 率	35	25	45	43	28	27	27	30	30	28	22	22	21	30
	計 画 サンプル	1,356	1,349	249	215	232	232	304	315	282	260	251	162	203	2,705
	%	50	50	9	8	9	9	11	12	11	10	9	6	8	102

		性 別		年 齢 別											計
		男	女	20 1 24	25 1 29	30 1 34	35 1 39	40 1 44	45 1 49	50 1 54	55 1 59	60 1 64	65 1 69	70 1	
K + M	集 計 サンプル	1,724	2,014	261	263	315	327	451	443	376	364	384	254	300	3,738
	不 能 サンプル	964	698	221	189	138	135	195	191	172	136	114	75	96	1,662
	不 能 率	36	26	46	42	30	29	30	30	31	27	23	23	24	31
	計 画 サンプル	2,688	2,712	482	452	453	462	646	634	548	500	498	329	396	5,400
	%	50	50	9	8	8	9	12	12	10	9	9	6	7	99

表 4 地方別サンプル、不能率

	地				方				別*			
	K				M				K + M			
	計サ ン プ 画ル	集サ ン プ 計ル	不サ ン プ 能ル	不 能 率	計サ ン プ 画ル	集サ ン プ 計ル	不サ ン プ 能ル	不 能 率	計サ ン プ 画ル	集サ ン プ 計ル	不サ ン プ 能ル	不 能 率
北海道	126	90	36	29	126	94	32	25	252	184	68	27
東北	198	148	50	25	198	150	48	24	396	298	98	25
関東	861	519	342	40	864	548	316	37	1,725	1,067	658	38
中部(東)	206	166	40	19	207	166	41	20	413	332	81	20
中部(西)	269	187	82	30	270	191	79	29	539	378	161	30
近畿	467	275	192	41	468	296	172	37	935	571	364	39
中国	180	139	41	23	180	131	49	27	360	270	90	25
四国	90	66	24	27	90	77	13	14	180	143	37	21
九州	298	243	55	18	302	252	50	17	600	495	105	18
計	2,695	1,833	862	32	2,705	1,905	800	30	5,400	3,738	1,662	31

\* 沖縄は九州に含む

表 5 市郡別サンプル、不能率

	市				郡				別			
	K				M				K + M			
	計サ ン プ 画ル	集サ ン プ 計ル	不サ ン プ 能ル	不 能 率	計サ ン プ 画ル	集サ ン プ 計ル	不サ ン プ 能ル	不 能 率	計サ ン プ 画ル	集サ ン プ 計ル	不サ ン プ 能ル	不 能 率
6大都市	422	225	197	47	423	239	184	43	845	464	381	45
人口50万 以上の市	288	182	106	37	288	197	91	32	576	379	197	34
人口20～ 50万の市	566	379	187	33	569	416	153	27	1,135	795	340	30
人口10～ 20万の市	314	206	108	34	315	206	109	35	629	412	217	34
人口5～ 10万の市	377	270	107	28	380	272	108	28	757	542	215	28
人口5万 未満の市	143	119	24	17	144	103	41	28	287	222	65	23
町村	585	452	133	23	586	472	114	19	1,171	924	247	21
計	2,695	1,833	862	32	2,705	1,905	800	30	5,400	3,738	1,662	31

### § 3 文献と資料

#### 1953 年

1. 林知己夫 他：「わが国国民性の統計数理的研究」日本統計学会会報, 1953 年度, 52-66, 1953 年.

#### 1954 年

2. 林知己夫：「統計的立場から見た国民性の研究」教育統計 (文部省調査局), 第 30 号, 16-53, 1954 年.

#### 1959 年

3. 「国民性の研究 第 II 次調査 (その 1)」数研研究レポート, No. 5, 1959 年.
4. 「国民性の研究 第 II 次調査 (改訂増補版)」数研研究レポート, No. 6, 1959 年.
5. 西平重喜：「日本人のものの考え方」経済評論, 8 月臨時増刊号, 135-157, 1959 年.

#### 1960 年

6. 「国民性の研究 岐阜吟味調査」数研研究レポート, No. 7, 1960 年.
7. 林知己夫：「日本人の国民性」自由, 1 月号, 58-72, 1960 年.
8. Hayashi, C. *et al.* : A Study of Japanese National Character, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. I, 1-30, 1960.
9. Hayashi, C. *et al.* : A Study of the Japanese National Character —Part II—, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. II, 1-30, 1960.

#### 1961 年

10. 統計数理研究所国民性調査委員会：日本人の国民性, 至誠堂, 1961 年.
11. 西平重喜：「国民性第 II 次調査—その 1—」日本統計学会会報, 1959 年度, 52-53, 1961 年.
12. 鈴木達三：「国民性第 II 次調査—その 2—」日本統計学会会報, 1959 年度, 53-55, 1961 年.

#### 1963 年

13. 「国民性の研究 岐阜調査 (1963)」数研研究レポート, No. 8, 1963 年.
14. 西平重喜：日本人の意見, 誠信書房, 1963 年.

#### 1964 年

15. 「国民性の研究 第 III 次調査 1963 年調査」数研研究レポート, No. 11, 1964 年.
16. 「成年の常識—壮丁検査との比較— および職業の社会的評価—職業ランキング—」数研研究レポート, No. 12, 1964 年.
17. 鈴木達三：「国民性の研究—第 III 次全国調査について」統計数理研究所彙報, 11 巻 2 号, 105-176, 1964 年.

18. 鈴木達三：「戦後日本人は変わったか」自由, 10月号, 140-147, 1964年.

#### 1965年

19. 林知己夫・西平重喜・鈴木達三：図説・日本人の国民性 (至誠堂新書 5), 至誠堂, 1965年.

#### 1966年

20. 「国民性の研究 1965年調査」数研研究レポート, No. 14, 1966年.

21. Suzuki, T.: A Study of the Japanese National Character —Part III, The Third Survey, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. IV, 15-64, 1966.

#### 1967年

22. 林知己夫・鈴木達三：「日本人の自画像—日本人は日本人をどう考えているか—」自由, 1月号, 170-178, 1967年.

#### 1968年

23. 鈴木達三：「日本人の国民性・ものの考え方」統計 (日本統計協会), 19巻2号 (2月号), 22-27, 1968年.

#### 1969年

24. 「宗教調査—1968年, 国際比較—」数研研究レポート, No. 21, 1969年.

25. 「国民性の研究 第4回全国調査—1968年全国調査—」数研研究レポート, No. 23, 1969年.

26. 「国民性の研究—I. 1969年岐阜パネル調査 —II. 面接調査と自記式調査の比較 (1969年岐阜自記式調査)」数研研究レポート, No. 24, 1969年.

27. 林知己夫：「日本人の国民像—15年の変化」自由, 7月号, 49-57, 1969年.

28. 西平重喜：「日本人の宗教的態度と国際比較」布教, 6月号, 344-356, 7月号, 403-417, 1969年.

29. 西平重喜：「15年間の意見の変化—国民性第IV次調査より」国民生活研究, Vol. 8, No. 7 (7月号), 44-50, 1969年.

30. 西平重喜：「国民性の変化」新聞広告ゼミナール講演集第20回 全日本新聞広告会, 全日本新聞広告会, 75-111, 1969年.

#### 1970年

31. 統計数理研究所国民性調査委員会：第2日本人の国民性, 至誠堂, 1970年.

32. 林知己夫：「断絶する政党と国民の政治意識」自由, 2月号, 90-95, 1970年.

33. 西平重喜：「国民性調査からみた現代日本人の考え方感じ方」TVVレポート, No. 67, 81-85, 1970年.

34. Nisihira, S.: Les Attitudes des Japonais envers la Religion, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 6, 81-94, 1970.

35. Suzuki, T. : A Study of the Japanese National Character —Part IV—, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 6, 1-80, 1970.(240. に収録)

1971 年

36. 青山博次郎：「日本人—統計から見た特性」*毎日夫人*, No. 136 (5月号), 4-18, 1971 年.  
37. 鈴木達三：「海外における日系人のパースナリティ調査企画」*AD.R (KYOWA AD-REVIEW)*, No. 54, 9-13, 1971 年.

1972 年

38. 林知己夫：「比較研究のむずかしさ」*共同通信* 1972 年 7 月 5 日.  
39. 林知己夫：「日本人の国民性について—第 20 回国際心理学会に出席して」*サンケイ新聞* 1972 年 8 月 25 日.  
40. Hayashi, C. : The Japanese National Character, *Abstract Guide of XXth International Congress of Psychology, 1982 Tokyo*, 46-47, 1972.  
41. 西平重喜：「西洋人は宗教についてどう考えているか」*宗務時報*, No. 29, 2-21, 1972 年.  
42. 鈴木達三：「ハワイ（ホノルル）における日系人—日本人の国民性調査との関連—」*学術月報*, Vol. 24, No. 11 (308 号, 2 月), 37-44, 1972 年.  
43. 鈴木達三：「変わりゆく日本人の国民性」*PR ニュース (電通 PR センター)*, 77 号 (9 月 1 日号), 3, 1972 年.  
44. Suzuki, T., Hayashi, C., Nishihira, S., Aoyama, H., Nomoto, K., Kuroda, Y. and Kuroda, A. K. : A Study of Japanese-Americans in Honolulu, Hawaii, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 7, 1-60, 1972.(240. に収録)

1973 年

45. 「ハワイにおける日系人—日本人の国民性調査との関連, —ハワイ日系人の言語調査」*数研研究レポート*, No. 33, 1973 年.  
46. 林知己夫：「比較文化研究に対する一つの統計的分析の試み II—態度数量化の方法 IV—」*統計数理研究所彙報*, 21 巻 2 号, 173-181, 1973 年.  
47. 林知己夫 (編著)・西平重喜・野元菊雄・鈴木達三：比較日本人論 (中公新書 333), 中央公論社, 1973 年.  
48. 西平重喜：「日本人の国民性について」*心と社会*, Vol. 4, No. 1, 47-53, 1973 年.  
49. 坂元慶行：「公共意識と個人の権利意識」*AD.R (KYOWA AD-REVIEW)*, No. 63, 19-23, 1973 年.  
50. 鈴木達三：「比較文化研究に対する一つの統計的分析の試み I—日本人の国民性とハワイ日系人—」*統計数理研究所彙報*, 21 巻 2 号, 125-171, 1973 年.

## 1974 年

51. 「国民性の研究 第5回全国調査—1973年全国調査—」数研研究レポート, No. 38, 1974 年.
52. 林知己夫: 社会と統計 (放送大学実験放送テキスト), 旺文社, 1974 年.
53. 林知己夫: 「日本人の心は変わったか—調査からみた日本人の国民性」日本人研究 1/日本人の心は変わったか (日本人研究会編), 至誠堂, 1-80, 1974 年.
54. 林知己夫: 「日本人の科学文明観」内外教育 (時事通信社) 1974 年 5 月 24 日.
55. 林知己夫: 「日本人はどのように変わったか—国民性の調査から—」町内週報, 1165 号 (6 月), 3-7, 1974 年.
56. 林知己夫: 「日本人の心のヒダ—根深い義理人情構造—」朝日新聞 1974 年 6 月 17 日夕刊.
57. 林知己夫: 「現代の若者も人情課長を好む—現代若者の職場意識—」あすへの力 (神奈川県青少年育成課), No. 62 (7 月), 1-4, 1974 年.
58. 林知己夫: 「日本人の国民性をめぐって」教育と医学, 10 月号, 11-19, 1974 年.
59. 林知己夫: 「相互理解の構造—年齢の断絶はくるか—」青淵, 10 月号, 23-25, 1974 年.
60. 林知己夫: 「義理と人情」にんげん百科, 5 巻 7 号 (通巻 59 号), 1414-1415, 1974 年.
61. 林知己夫: 「日本人は健全である —国民性調査 20 年で明らかにされた真実」正論, 12 月号, 52-60, 1974 年.
62. 林知己夫: 「日本人の偉人観」歴史と旅, 1 巻 12 号 (12 月号), 141-142, 1974 年.
63. 林知己夫: 「日本人の価値観」自治研修, 12 月号, 11-20, 1974 年.
64. Hayashi, C.: Time, Age and Ways of Thinking—From the Kokuminsei Surveys, *Journal of Asian and African Studies*, Vol. X, No. 1 & 2, 75-85, 1974. (76. に収録)
65. Hayashi, C. and Suzuki, T.: Quantitative Approach to a Cross-Societal Research; A Comparative Study of Japanese Character, Part I, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 26, No. 3, 455-516, 1974. (240. に収録)
66. 西平重喜: 「政治についての世論の変化—20 年史」日本人研究 1/日本人の心は変わったか (日本人研究会編), 至誠堂, 81-113, 1974 年.
67. 西平重喜: 「変った国民性 変らない国民性」自由, 8 月号, 174-182, 1974 年.
68. Nisihira, S.: Changed and Unchanged Characteristics of the Japanese, *Japan Echo*, Vol. I, No. 2, 22-32, 1974. (67. の英訳)
69. Sakamoto, Y.: A Study of the Japanese National Character —Part V, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 8, 1-57, 1974.

70. 鈴木達三：「国民性国際比較の方法—日本人とハワイ日系人の比較から」日本人研究 1/日本人の心は変わったか (日本人研究会編), 至誠堂, 258-318, 1974 年.
71. 鈴木達三：日本人の国民性 20 年の変遷 (電通モチベーションリサーチ研究委員会定例研究会リポート No. 12), 1974 年 6 月.

#### 1975 年

72. 統計数理研究所国民性調査委員会：第 3 日本人の国民性, 至誠堂, 1975 年.
73. 林知己夫：「日本人の意識は支持政党によりどうちがうか」日本人研究 2/支持政党別日本人集団 (日本人研究会編), 至誠堂, 1-54, 1975 年.
74. 林知己夫：「統計で日本人の心を描く」日立, 37 巻 2 号 (2 月号), 8-9, 1975 年.
75. 林知己夫：「日本人の生きがいについて」貯蓄時報 (日銀), No. 106 (12 月号), 12-22, 1975 年.
76. Hayashi, C. : Time, Age and Ways of Thinking—From the Kokuminsei Surveys, in *Adult Episode in Japan* (Plath, D. W. ed.), E. J. Brill, Leiden, 75-85, 1975.(64. を収録)
77. Hayashi, C. and Suzuki, T. : Quantitative Approach to a Cross-Societal Research; A Comparative Study of Japanese Character, Part II, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 27, No. 1, 1-32, 1975.(240. に収録)
78. 西平重喜：「日本人の宗教的態度の変化」布教, 29 巻 3 号, 174-180, 1975 年.
79. 坂元慶行：「戦後日本の経済と人間の意識構造」週刊東洋経済, No. 3868 (4 月 24 日臨時増刊号), 117-125, 1975 年.
80. 鈴木達三：「比較文化研究の問題」数理科学, 13 巻 3 号 (No. 141), 39-44, 1975 年.

#### 1976 年

81. 林知己夫：「変わる思想・変わらぬ思想」信濃毎日 1976 年 1 月 1 日.
82. 林知己夫：「調査は何を物語るか」スチールデザイン (新日本製鉄 (株)), 154 号, 3-5, 1976 年.
83. 林知己夫：「日本人の考え方はどう変わったか」日本文化会議月例懇談会収録集, No. 85, 1976 年.
84. 林知己夫：「世論をどうつかまえるか」日本人研究 4/世論とは何か (日本人研究会編), 至誠堂, 1-48, 1976 年.
85. 林知己夫：「比較研究ということ」統計 (日本統計協会), 27 巻 10 号 (10 月号), 55-56, 1976 年.
86. 鈴木達三：「地域開発、地域社会に関する世論」昭和 50 年代の地域開発を考えるための地域開発関連文献に関する調査・報告書 (日本地域開発センター), 95-98, 1976 年 3 月.

87. 鈴木達三：「思想と年齢」数理科学, 14 卷 1 号 (No. 151), 9-14, 1976 年.

#### 1977 年

88. Research Committee on the Study of the Japanese National Character : *Changing Japanese Value —Statistical Surveys and Analyses—*, Inst. Statist. Math., 1977.
89. 林知己夫：「世論調査の発展と現状」世論調査の現状と課題 (輿論科学協会編), 至誠堂, 51-88, 1977 年.
90. 林知己夫：「日本人の対外国態度と対外国人態度」日本人研究 5/日本人の対外国態度 (日本人研究会編), 至誠堂, 191-214, 1977 年.
91. 林知己夫：「価値観、にっぽん 1895-1977」週刊東洋経済, No. 4001 (4 月 6 日号), (中綴じ 4 頁), 1977 年.
92. 林知己夫：「計量的日本人論」文化庁月報, No. 105 (6 月号), 4-7, 1977 年.
93. Hayashi, C. : Changes in Japanese Thought during the Past Twenty Years, *Text of Seminar in the U. S. (March 1977)*, "Nihonjin Kenkyukai Changing Values in Modern Japan", 3-57, 1977.(240. に収録)
94. Suzuki, T. and Jitodai, T. T. : Migration and Prefectural Identification in Four Japanese Prefectures, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 29, No. 3, B, 511-525, 1977.(240. に収録)
95. Suzuki, T. and Kuroda, Y. : A Note on Immigrants to Hawaii, in *A Comparative Sociological Study on the Adaptation and Attitude Change of Asian Emigrants* (Migration Research Series No. 1), Dept. of Sociology, The University of Tsukuba, 30-39, 1977.

#### 1978 年

96. 林知己夫：「日本人の対外国態度」正論, 4 月号, 31-32, 1978 年.
97. 林知己夫：「革新政党の伸びる条件」Voice, 4 月号, 38-39, 1978 年.
98. 林知己夫：「日本人のグループダイナミックス」グループダイナミックス (三隅二不二編), 旺文社, 128-137, 1978 年.
99. 林知己夫：「国民性」実験心理学研究, 17 卷 2 号, 153, 1978 年.
100. 林知己夫：「政治意識の生態—時と場合で使い分け—」朝日新聞 1978 年 12 月 16 日夕刊.
101. Hayashi, C. : Japanese Attitude and Party Preference, *Japan Echo*, Vol. 5, Special Issue, 58-81, 1978.(73. の翻訳)
102. Hayashi, C. : Nationality, in *Social Psychology in Japan* (Misumi, J. ed.), Osaka University, 674-675, 1978.



103. Kuroda, Y., Suzuki, T. and Hayashi, C. : A Cross-National Analysis of the Japanese Character among Japanese-Americans in Honolulu, *Ethnicity*, Vol. 5, 42-59, 1978.
104. 西平重喜：世論反映の方法 (第 II 部第 1 章 日本人の国民性), 誠信書房, 1978 年。  
1979 年
105. 「国民性の研究 第 6 回全国調査—1978 年全国調査—」 統計数理研究所 研究リポート, No. 46, 1979 年.
106. 林知己夫：「戦後日本人の意識はどう変ったか—『伝統保守』への U ターンと“新型日本人”の出現」 朝日ジャーナル, Vol. 21, No. 32 (8 月 17-24 日合併号), 96-100, 1979 年.
107. 林知己夫：「都会人の自然観をめぐって—自然のあり方を考えるに際して—」 グリーンエイジ (財)日本緑化センター), 9 月号, 7-14, 1979 年.
108. 林知己夫：「若い者は何をどう考えているか—国民性調査から—」 教育委員会月報, No. 350 (10 月号), 4-15, 1979 年.
109. 林知己夫：「現代日本人の意識」 自警, 12 月号, 24-28, 1979 年.
110. 林知己夫 他：「政治意識の感情構造の研究」 統計数理研究所 研究リポート, No. 45, 1979 年.
111. 林知己夫 他：「比較文化における統計的手法の確立—ハワイにおける日系人・非日系人調査—」 統計数理研究所 研究リポート, No. 47, 1979 年.
112. 鈴木達三：「いつ日本人は勤勉ではなくなるか」 文化会議, 第 121 号 (7 月号), 29-30, 1979 年.
- 1980 年
113. 林知己夫：「日本人の自然観—心を探る統計的方法—(講演概要)」 新大広報 (新潟大学), 55 号, 17-19, 1980 年.
114. 林知己夫：「比較研究における方法論」 日本人とアメリカ人—比較研究の意義・方法・可能性 (トヨタ財団第 7 回助成研究報告会資料), 74-92, 1980 年 2 月.
115. 林知己夫：政治意識の感情構造と無党派層 ((社) 民主主義研究会報告書), 1980 年 3 月.
116. 林知己夫：「心にとって加齢とは何か」 日本老年医学会雑誌, 17 巻 3 号, 270-273, 1980 年.
117. 林知己夫：「日本人の意識の底を探る試み—お化けへの関心—」 数理科学, 18 巻 6 号 (No. 204), 23-32, 1980 年.
118. 林知己夫：「若者の心の流れ」 更正保護 (法務省保護局編), 7 月号, 32-35, 1980 年.

119. 林知己夫：「多元化社会の青少年」教育委員会月報, No. 362 (10 月号), 4-15, 1980 年.
  120. 林知己夫・鮑戸弘・佐藤誠三郎・岩男寿美子・児島和人・田崎篤郎：多元化社会の生活関心 (多元化社会の生活関心研究グループ—大平総理の政策研究会報告書 9), 1980 年 7 月.
  121. Hayashi, C. : Data Analysis in a Comparative Study, in *Data Analysis and Information* (Dedey, E. et al. eds.), North-Holland, 31-51, 1980.
  122. Leghorn, R. Y. and Suzuki, T. : Age, Sex and Cohort: Explicating Social Change in Post-War Japan, *Proceedings of Kyoto American Studies Summer Seminar*, Doshisha University, 95-124, 1980.
  123. 水野欽司：「“暮らし” 意識の動き—日本人の国民性調査から—」統計 (日本統計学会), 31 巻 5 号 (5 月号), 1-6, 1980 年.
  124. 西平重喜：「世論調査にみる同時代史 (1) 日本人の考え方の変化」自由, 9 月号, 18-27, 1980 年.
  125. 西平重喜：「日本人は宗教をどう考えているか」宗務時報, No. 55, 7-20, 1980 年.
  126. Research Committee on the Study of Honolulu Residents : Honolulu Residents and Their Attitudes in Multi-Ethnic Perspective: Toward a Theory of the American National Character, *The ISM Monograph* 1, The University Press of Hawaii, 1980.
  127. 鈴木達三：「アメリカ人の価値意識—国際比較の方法論的研究—」日本人とアメリカ人—比較研究の意義・方法・可能性— (トヨタ財団第 7 回助成研究報告資料), 40-73, 1980 年 2 月.
  128. 鈴木達三：「調査データの見方」確率と統計—基礎から応用まで (林知己夫編著, テレビ大学講座), 旺文社, 101-114, 1980.
  129. Suzuki, T. : Pitfalls in Cross-Cultural Survey Research: Comparative Study of Value Systems in Japan and the United States, *Proceedings of Symposium on Research Funded by the Toyota Foundation*, “The Japanese and the Americans: Significance, Methodology and Possibilities of International Comparative Studies”, Toyota Foundation, 97-101, 1980.
- 1981 年
130. 林知己夫：「国民性の比較研究—国際比較研究の問題点—」日本文化の国際性と国際化の研究 (放送開発センター, 昭和 55 年度), 33-54, 1981 年 3 月.
  131. 林知己夫：日本人研究三十年 (至誠堂選書 6), 至誠堂, 1981 年.

132. 林知己夫 他：「社会的態度基底構造についての国際比較方法の標準化に関する研究」 統計数理研究所 研究レポート, No. 54, 1981 年.
133. 水野欽司：「日本人の価値観を探る—第6回・国民性調査から」 公務員の倫理と価値観 (地方自治研究資料センター編, 自治研修叢書), 第一法規, 165-187, 1981 年.
- 1982 年
134. 統計数理研究所国民性調査委員会：第4日本人の国民性, 出光書店, 1982 年.
135. 林知己夫：「考えの筋道による国際比較」 現代社会心理学の発展 I (三隅二不二・木下富雄 編), ナカニシヤ出版, 291-339, 1982 年.
136. 林知己夫：「日本人論について」 文化と人間 (東洋他 編, 講座現代の心理学), 小学館, 365-424, 1982 年.
137. 林知己夫：「日本人の生きがいの変遷—国民性調査から—」 教育と医学, 30 巻 4 号 (4 月号), 12-22, 1982 年.
138. 林知己夫：「計量的国民性研究の立場—日本人研究を中心として—」 学術月報, Vol. 35, No. 3 (6 月号), 162-167, 1982 年.
139. 林知己夫：「法意識の底にあるものを求めて」 現代日本人の法意識 (日本文化会議編), 第一法規, 45-83, 1982 年.
140. 林知己夫：「敬う (特集—新・日本人像—)」 月刊 NIRA, 9 月号, 13-15, 1982 年.
141. 林知己夫・穂山貞登 編：日本と東南アジアの文化摩擦, 出光書店, 1982 年.
142. 林知己夫・米沢弘：日本人の深層意識 (NHK ブックス 414), 日本放送出版協会, 1982 年.
143. 林知己夫 編著：日本人の政治感覚 (日本人研究 6), 出光書店, 1982 年.
144. 中村隆：「ベイズ型コウホート・モデル—標準コウホート表への適用—」 統計数理研究所彙報, 29 巻 2 号, 77-97, 1982 年.
145. 中村隆：「新しいコウホート分析について (1)~(3)」 中央調査報, No. 297~299, 6-7, 1982 年.
146. 鈴木達三：「“ものの考え方” の変化と現代」 サイコロジー, 3 巻 1 号, 32-41, 1982 年.
147. 鈴木達三：「国際比較の方法—日本人とアメリカ人—」 数理科学, 20 巻 8 号 (No. 230), 7-21, 1982 年.
148. 鈴木達三・中村隆：「継続調査の二次分析」 統計数理研究所 研究レポート, No. 56, 1982 年.
149. 鈴木達三・中村隆・柳原良造：「マーケティングの新しい手法コウホート分析 (上)」 DIAMOND ハーバード・ビジネス, Vol. 7, No. 4, 39-48, 1982 年.

150. 鈴木達三・中村隆・柳原良造：「注目されるコウホート分析(下) マーケティング戦略にどうかすか」DIAMOND ハーバード・ビジネス, Vol. 7, No. 5, 86-95, 1982 年.

1983 年

151. 林知己夫：「女の意見の特色」日本人研究 7/日本の女性の生き方(杉山明子編), 出光書店, 163-179, 1983 年.
152. 林知己夫：「日本人論と行動計量学」行動計量学, 10 巻 1 号, 1-6, 1983 年.
153. 林知己夫：「日本人の健康観」労働衛生, 27 巻 7 号(7 月号), 30-31, 1983 年.
154. 林知己夫：「比較日本人論」第 26 回 TASK 講演会予稿, TASK たばこ総合研究センター, 1983 年 11 月.
155. Hayashi, C.: International Understanding through Broadcasting and the Basic Structure of the Social Behavior of People, *HBF News Letter*, ISSUE No. 16, May, 35-49, 1983.
156. 中村隆：「女性の意見の世代差」日本人研究 7/日本の女性の生き方(杉山明子編), 出光書店, 44-83, 1983 年.
157. 坂元慶行：「日本人の国民性」文化のなかの人間(永野重史・依田明 編, 発達心理学への招待 7), 新曜社, 199-214, 1983 年.
158. 坂元慶行：「日本における意識動向の新たな断面—人間関係観を中心として—」統計数理研究所彙報, 31 巻 2 号, 133-149, 1983 年.
159. 鈴木達三：「コウホート分析—継続調査データの組織的利用法—」マーケティング・リサーチャー, No. 30, 43-49, 1983 年.
160. 鈴木達三・中村隆：「社会調査データの集積化と二次分析」統計数理研究所 研究レポート, No. 58, 1983 年.

1984 年

161. 「国民性の研究 第 7 回全国調査—1983 年全国調査—」統計数理研究所 研究レポート, No. 60, 1984 年.
162. 林知己夫：調査の科学(ブルーボックス 571), 講談社, 1984 年.
163. 林知己夫：「科学のおとし穴はどこにあるか」あいまいさを科学する(林知己夫・坂本賢三編, ブルーボックス 554), 講談社, 17-54, 1984 年.
164. 林知己夫：「国際比較からみた私の日本人論」集団力学研究所紀要, 第 1 巻, 21-59, 1984 年.
165. 林知己夫：「現代日本人の心情風景」サンケイ新聞 1984 年 12 月 10 日夕刊.
166. 林知己夫：「日本人の国民性に関する十章—30 年間の調査から—」教育委員会 月報, No. 412 (12 月号), 4-25, 1984 年.

167. 林知己夫：「新しい日本人が生まれつつある」 内外教育 (時事通信社) 1984 年 12 月 7 日.
168. 林知己夫 他：「社会調査による国際比較方法の研究」 統計数理研究所 研究リポート, No. 59, 1984 年.
169. 林知己夫 他：「新しい価値意識の形成過程に関する計量的研究」 統計数理研究所 研究リポート, No. 61, 1984 年.
170. 林知己夫 編著：多次元尺度解析法の実際, サイエンス社, 1984 年.
171. Hayashi, C., Suzuki, T. and Hayashi, F. : Comparative Study of Lifestyle and Quality of Life: Japan and France, *Behaviormetrika*, No. 15, 1-17, 1984.(240. に収録)
172. Hayashi, C. and Suzuki, T. : Changes in Belief Systems, Quality of Life Issues and Social Conditions over 25 Years in Post-War Japan, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Part B, Vol. 36, No. 1, 135-161, 1984.(240. に収録)
173. 中村隆：「コウホート分析の方法」 *ブレーン*, Vol. 24, No. 9, 58-65, 1984 年.
174. The Research Committee on the Study of Japanese Americans in Honolulu, Hawaii : Honolulu's Japanese Americans in Comparative Perspective, *The ISM Monograph 2*, The University Press of Hawaii, 1984.
175. 四手井綱英・林知己夫 編著：森林をみる心, 共立出版, 1984 年.
176. 鈴木達三：「世代論の計量的展開—市場調査データとコウホート分析—」 *ブレーン*, Vol. 24, No. 9, 45-56, 1984 年.
177. 鈴木達三：「社会調査による国際比較研究における問題」 日本心理学会シンポジウム予稿集, 1984 年 10 月.
178. Suzuki, T. : Ways of Life and Social Milieus in Japan and the United States: A Comparative Study, *Behaviormetrika*, No. 15, 77-108, 1984.(240. に収録)

#### 1985 年

179. 統計数理研究所国民性調査委員会：「国民性調査のコウホート分析—第 3 版—」 統計数理研究所 研究リポート, No. 62, 1985 年.
180. 林知己夫：「新しい日本の誕生」 *世界日報* 1985 年 1 月 13 日.
181. 林知己夫：「私の世界—日本人研究 (上・下)」 *信濃毎日* 1985 年 5 月 24, 25 日 夕刊.
182. 林知己夫：「国際理解と国際比較」 *統計数理*, 33 巻 2 号, 265-272, 1985 年.
183. 林知己夫：「日本人のものの考え方・感じ方—国際交流における問題点—」 *国際を考えるシリーズ* (国際商科大学国際交流研究所), 第 3 号, 3-27, 1985 年.

184. 林知己夫：「国際文化比較の意味を考える」文化会議, 189 号 (3 月号), 26-37, 1985 年.
  185. 林知己夫：データ解析法, 日本放送出版協会, 1985 年.
  186. 林知己夫：「翻訳とは何なのか」言語生活, 創立 400 号記念臨時増刊号, 58, 1985 年.
  187. 林知己夫：「日本人の国民性」教育展望, 5 月号, 20-21, 1985 年.
  188. 林知己夫：「国際相互理解と日本人研究—『同じ所』『異なる所』を見極めよ」サンケイ新聞 1985 年 5 月 21 日.(189. に収録)
  189. 林知己夫：「国際相互理解と日本人研究—『同じ所』『異なる所』を見極めよ」正論 1985 年.(188. を収録)
  190. 林知己夫：「調査極意」市場調査 (輿論科学協会), 183 号, 1-15, 1985 年.
  191. 林知己夫：「新しい日本人とはどんな人間？」NEXT, 8 月号, 98-102, 1985 年.
  192. 林知己夫・赤池弘次・鈴木達三：統計学特論, 日本放送出版協会, 1985 年.
  193. 林知己夫 他：「比較文化研究における連鎖的調査手法の確立とその展開—1983 年ハワイ・ホノルル市民調査—」統計数理研究所 研究レポート, No. 63, 1985 年.
  194. Hayashi, C., Hayashi, F., Suzuki, T., Lebart, L. and Kuroda, Y. : Comparative Study of Quality of Life and Multidimensional Data Analysis: Japan, France and the U. S.(Hawaii), in *Fourth International Symposium, Data Analysis and Informatics (Versaille, France, Oct., 1985)*, INRIA, 573-583, 1985.(240. に収録)
  195. Leghorn, R. Y. and Suzuki, T. : Age, Sex and Cohort: Explicating Social Change in Post-War Japan, *Behaviormetrika*, No. 18, 1-16, 1985.(240. に収録)
  196. 中村隆：「ベイズ型コウホートモデル」統計数理, 33 巻 1 号, 47-48, 1985 年.
  197. 西平重喜：「日本人の国民性の研究」ケース・データにみる社会・世論調査 (代表者岡本宏), 芦書房, 36-72, 1985 年.
  198. 坂元慶行：カテゴリカルデータのモデル分析, 共立出版, 1985 年.
  199. 鈴木達三：「消費者行動の新しいとらえ方—コウホート分析を中心に—」講演集・消費者行動を考える (流通問題研究協会編, IDR 研究資料 98), 59-77, 1985 年 11 月.
- 1986 年
200. 林知己夫：「世界の孤児にならないために」集団力学研究所紀要, 第 3 巻, 110-119, 1986 年.
  201. 林知己夫：「日本人の休み方、遊び方」観光文化 (交通公社), Vol. 59, No. 91, 1, 1986 年.
  202. 林知己夫：「日本人の国民性」新教育社会学辞典, 東洋館出版社, 697-698, 1986 年.

203. 林知己夫：「国民性の統計的研究—来しかたを見て行くさきを思う」統計数理, 34 卷 1 号, 1-27, 1986 年.
204. 林知己夫・鈴木達三：社会調査と数量化—国際比較におけるデータ解析—, 岩波書店, 1986 年.
205. 林知己夫 他：「比較文化研究における連鎖的調査手法の確立とその展開—改定増補版—」統計数理研究所 研究レポート, No. 64, 1986 年.
206. Kuroda, Y., Hayashi, C. and Suzuki, T. : The Role of Language in Cross-National Surveys: American and Japanese Respondents, *Applied Stochastic Models and Data Analysis*, Vol. 2, 43-59, 1986.(240. に収録)
207. The Research Committee on the Study of Honolulu Residents : The Third Attitudinal Survey of Honolulu Residents, *The ISM Monograph* 3, The University of Hawaii Press, 1986.
208. 鈴木達三：「国際比較の現状とあり方—『意識の国際比較方法論の研究』に向けて—」文化会議, 第 209 号 (11 月号), 34-41, 1986 年.

#### 1987 年

209. 林知己夫：「日本人の人間関係」人間関係論 (三隅二不二編著), 日本放送出版協会, 166-182, 1987 年.
210. Hayashi, C. : Statistical Study of Japanese National Character, *Journal of Japan Statistical Society*, Special Issue, 71-95, 1987.
211. Kuroda, Y., Kuroda, A. K., Hayashi, C. and Suzuki, T. : The End of Westernization and the Beginning of New Modernization in Japan: Attitudinal Dynamics of the Japanese, 1953-1983, *The Arab Journal of the Social Sciences*, Vol. 2, No. 1, 18-36, 1987.(240. に収録)
212. 中村隆：「年齢・時代・世代の違いを探る—コウホート分析の方法—」統計数理, 35 卷 1 号, 103-107, 1987 年.
213. 中村隆：「年齢・時代・世代の違いを捉える—ベイズ型コウホートモデル—」インフォメーション, Vol. 6, No. 9, 74-84, 1987 年.
214. 坂元慶行：「階層帰属意識の実像」統計数理, 35 卷 2 号, 233-255, 1987 年.
215. Sasaki, M. and Suzuki, T. : Changes in Religious Commitment in the United States, Holland, and Japan, *American Journal of Sociology*, Vol. 92, No. 5, 1055-1076, 1987.(240. に収録)
216. Trommsdorff, G., Suzuki, T. und Sasaki, M. : Soziale Ungleichheiten in Japan und der Bundesrepublik Deutschland, *Kölner Zeitschrift für Soziologie und Sozialpsychologie*, Vol. 39, No. 3, 496-515, 1987.(240. に収録)

## 1988 年

- 217. 林知己夫：「日本人研究と国際比較」総研ジャーナル(関西学院大、総合研究室), No. 50, 1-22, 1988 年.
- 218. 林知己夫：生活価値観の変化とその測定(マーケティング教育研究所レポート), 1988 年 3 月.
- 219. 林知己夫：日本人の心をはかる, 朝日新聞社, 1988 年.
- 220. 林知己夫：「玉虫色好きは貴重な態度—日本人の国民性調査から—」サンケイ新聞 1988 年 7 月 26 日.(221. に収録)
- 221. 林知己夫：「日本人の国民性調査から」正論, 10 月号, (オピニオン正論欄 30-31), 1988 年.(220. を収録)

## 1989 年

- 222. 「国民性の研究 第 8 回全国調査—1988 年全国調査—」統計数理研究所 研究レポート, No. 69, 1989 年.
- 223. 林知己夫：「心をはかる 数量からみた日本人の心」東京新聞 1989 年 2 月 2 日.
- 224. 林知己夫：「心をはかる 変わらぬ心、変わる心」東京新聞 1989 年 2 月 9 日.
- 225. 林知己夫：「心をはかる 変化する【心の構図】」東京新聞 1989 年 2 月 16 日.
- 226. 林知己夫：「心をはかる 変化の節目は 15 年刻み」東京新聞 1989 年 2 月 23 日.
- 227. 林知己夫：新型日本人と企業の対応(マーケティング教育研究所レポート), 1989 年 3 月.
- 228. 林知己夫：「人間の価値観の重要性」RANDOM(リサーチ・アンド・デベロップメント), 5 号, 1-2, 1989 年.
- 229. 林知己夫：「日本人の科学文明観と情操教育」悠(筑摩書房), 10 月号, 18-21, 1989 年.
- 230. 林知己夫：「国際化と日本人の意識」商工ジャーナル, 11 月号, 9, 1989 年.
- 231. Hayashi, C. : Cultural Link Analysis for Comparative Research —A New Approach to the Exploration of Structure in Ways of Thinking Applied to Cross-National Analysis of General Social Attitude, *The Survey Statistician (ISI)*, No. 21, 14-15, 1989.
- 232. Kuroda, Y. and Suzuki, T. : Language and Attitude: A Study in Arabic, English, and Japanese on the Role of Language in Cross-Cultural Thinking, in *Thinking Across Cultures: The Third International Conference on Thinking* (Topping, D. M., Crowell, D. C. and Kobayashi, V. N., eds.), Lawrence Erlbaum Associates, 147-161, 1989.(240. に収録)



233. Sasaki, M. and Suzuki, T. : New Directions in the Study of General Social Attitudes: Trend and Cross-National Perspectives, *Behaviormetrika*, No. 26, 9-30, 1989.(240. に収録)
234. Suzuki, T. : Cultural Link Analysis: Its Application to Social Attitudes—A Study Among Five Nations, *Bulletin of the International Statistical Institute, Proceedings of the 47th Session, Paris*, 343-379, 1989.(240. に収録)
235. 吉野諒三 : 「『Batchelder と Romney の正答のないテスト理論』の拡張とアンケート調査法への応用」*統計数理*, 37 巻 2 号, 171-188, 1989 年.

#### 1990 年

236. 林知己夫 : 「世論調査による日本人の国民性」*日本世論調査協会報*, 64 号, 3-9, 1990 年.
237. 林知己夫 : 「日本人の価値観」道標 (実務研究所), 3 月号, 8-9, 1990 年.
238. 林知己夫 : 「国民性」新教育学大事典, 第一法規, 239-240, 1990 年.
239. Hayashi, C. : Statistical Study of Japanese National Character and Its International Comparison among Five Nations, *The Survey Statistician (ISI)*, No. 23, 14-15, 1990.
240. Hayashi, C. and Suzuki, T. (Eds.) : *Beyond Japanese Social Values —Trend and Cross-National Perspectives*, Inst. Statist. Math., 1990.

#### 1991 年

241. 林知己夫 : 「日本人の人間関係」人間関係論 (三隅二不二編著), 放送大学教育振興会, 177-192, 1991 年.(209. の改訂版)
242. 林知己夫 : 「国民性をはかる」市場調査 (輿論科学協会), 206-207 合併号, 2-32, 1991 年.
243. 林知己夫 : 「国際社会とストレス」ストレスと人間科学, No. 6-1, 35-37, 1991 年.
244. 林知己夫 : 「日本の若者」Phase (リサーチ・アンド・ディベロプメント社年報), 91, 2-23, 1991 年.
245. 林知己夫 : 生活価値観とグローバル・マーケティング, マーケティング教育研究所 (R&D), 1991 年.
246. 林知己夫 : 「豊さの中の日本 —その歩みと国際社会の中で」進路ジャーナル, 11 月号, 94-97, 1991 年.
247. 林知己夫・鈴木達三・三宅一郎・佐々木正道・林文・吉野諒三 : 「意識の国際比較方法論の研究—新しい統計的社会調査法の確立とその展開—」*統計数理研究所 研究レポート*, No. 71, 1991 年.

248. 林知己夫 他：「意識の国際比較方法論の研究：連鎖的比較方法の確立とその展開—1988年ハワイ・ホノルル市民調査—」 統計数理研究所 研究レポート, No. 70, 1991 年.
249. Hayashi, C., Suzuki, T. and Leghorn, R. Y. : *The Japanese and the Americans — Comparative and Time Series Surveys of the Institute of Statistical Mathematics*, Inst. Statist. Math., 1991.
250. Hayashi, C., Suzuki, T. and Sasaki, M. (Eds.) : *Japanese/American National Character Conference (Hoover Institution, Stanford University, March 17-18, 1990)*, Inst. Statist. Math., 1991.
251. Nisihira, S. et Condominas, C. : *L'opinion des Japonais; Société-Travail-Famille à travers les Sondages —comparaison internationale—*, Paris, Sudestasia, 1991.
252. 坂元慶行：「継続調査から何がわかるのだろうか—『中流意識』の分析をめぐる素朴な疑問—」 中央調査報, No. 400, 1-5, 1991 年.
253. Sakamoto, Y. : *Categorical Data Analysis by AIC*, Kluwer Academic Publishers, Dordrecht, Holland, 1991.

#### 1992 年

254. 統計数理研究所国民性調査委員会：第5日本人の国民性 戦後昭和期総集, 出光書店, 1992 年.
255. ブラジル日系人意識調査委員会：ブラジル日系人の意識構造, サンパウロ人文科学研究所, 1992 年.
256. 林知己夫：「国際的にみた日本人の意識」よろん (世論調査協会報), 70 号, 69-74, 1992 年.
257. 林知己夫：「日本人の考えの筋道を探る」 Satya (東洋大学), 7, 12-14, 1992 年.
258. 林知己夫：生活価値観の動向と市場創造の課題, マーケティング教育研究所 (R&D), 1992 年.
259. 林知己夫：「統計的方法による『日本人の国民性研究と意識の国際比較』方法論序説」日本統計学会誌, 21 巻 3 号, 353-367, 1992 年.
260. Hayashi, C. : Belief Systems and the Japanese Way of Thinking: Interchronological and International Perspectives, in *Social, Educational and Clinical Psychology, Proceedings of the 22nd International Congress of Applied Psychology: Volume 3*, Lawrence Erlbaum Associates, Publishers, 3-34, 1992.
261. Hayashi, C. : Quantitative Social Research—Belief Systems, the Way of Thinking and Sentiments of Five Nations—, *Behaviormetrika*, Vol. 19, No. 2, 127-170, 1992.

262. Hayashi, C., Suzuki, T. and Sasaki, M. : *Data Analysis for Comparative Social Research, International Perspectives*, Elsevier, North-Holland, 1992.
263. 中村隆 : 「継続調査データによって社会の変化をとらえる—コウホート分析の方法—」 *教育と情報*, No. 406, 46-47, 1992 年.
264. Nishihira, S. : Public Opinion in Japan—Changes and Comparisons, *Japanstudien*, Band 4, 37-54, 1992.
265. 坂元慶行 : 「統計学の効用」 *教育と情報*, No. 416, 46-47, 1992 年.
266. 吉野諒三 : 「社会調査データの国際比較の枠組みのための“superculture”」 *統計数理*, 40 巻 1 号, 1-16, 1992 年.
267. Yoshino, R. : An Extension of the Test Theory Without Answer Key by Batchelder and Romney for Social Survey Research, in *Social, Educational and Clinical Psychology, Proceedings of the 22nd International Congress of Applied Psychology: Volume 3* (Motoaki, H., Misumi, J. and Wilpert, B. eds.), Lawrence Erlbaum Associates, Publishers, 108, 1992.
268. Yoshino, R. : Superculture as a Frame of Reference for Cross-national Comparisons of National Characters, *Behaviormetrika*, No. 31, 23-41, 1992.
269. Yoshino, R. : The Unbiased BRIGHT Model and Its Application to the Distinction of Responses to a Free-answer Question in a Social Survey, *Behaviormetrika*, Vol. 19, No. 2, 83-96, 1992.

#### 1993 年

270. 林知己夫 : *行動計量学序説*, 朝倉書店, 1993 年.
271. 林知己夫 : 「国民性, 県民性」 *現代学校教育大辞典*, ぎょうせい, 1993 年.
272. 林知己夫 : 「日本人の国民性」 *統計数理*, 40 巻 2 号, 227-234, 1993 年.
273. 林知己夫 : 「日本人の国民性」 *Phase* (リサーチ・アンド・ディベロプメント社年報), 93, 64-95, 1993.
274. 林知己夫 : *生活価値観と消費市場*, マーケティング教育研究所 (R&D), 1993 年.
275. 林知己夫・鈴木達三・吉野諒三 他 : 「ブラジル日系人の意識調査—1991~1992 年調査 (改訂補遺版)」 *統計数理研究所 研究レポート*, No. 74, 1993 年.
276. 鈴木達三 : 「“ものの考え方”を比較する—国民性比較の方法論—」 *教育と情報*, No. 420, 44-45, 1993 年.

#### 1994 年

277. 林知己夫 : 「消費者意識の流れを読む」 *観光文化* (交通公社), Vol. 103, 2-7, 1994 年.

## II 質問文と集計表

### 集計表の見方

1. ここには、1993 年の第 9 次全国調査で使用した質問の全文とその集計表を収録してある。収録順は §、# 番号順になっている。また、第 8 次までの質問項目で、今回の質問と特に関連のあるものについては、参考までに、数字をのせた。
2. 単純集計表には比較のため第 1 次～第 9 次全国調査の結果を示した。

略 称	説 明
I (1953)	1953 年 (昭和 28 年) 実施の第 1 回全国調査の結果
II (1958)	1958 年 (昭和 33 年) 実施の第 2 回全国調査の結果
III (1963)	1963 年 (昭和 38 年) 実施の第 3 回全国調査の結果
IV (1968)	1968 年 (昭和 43 年) 実施の第 4 回全国調査の結果
V (1973)	1973 年 (昭和 48 年) 実施の第 5 回全国調査の結果
VI (1978)	1978 年 (昭和 53 年) 実施の第 6 回全国調査の結果
VII (1983)	1983 年 (昭和 58 年) 実施の第 7 回全国調査の結果
VIII (1988)	1988 年 (昭和 63 年) 実施の第 8 回全国調査の結果
IX (1993)	1993 年 (平成 5 年) 今回実施の第 9 回全国調査の結果

なお第 5～9 次調査の K という記号は、前述のように、過去との比較に重きをおいた調査票 (第 9 次では黄色) の集計結果、およびその質問番号をあらわし、M は将来のために改良または新設した質問を主とした調査票 (第 9 次では緑) の集計結果と質問番号を示す。

また第 2 次調査も調査票を 2 種づくり、一方は問 1 から、他方は問 101 から始まっている。

問の欄の×印は、その回の調査では質問していないことを示す。

3. 集計表にあげられた選択肢のうち D.K.(Don't know) は「わからない」の意味であるが、第 8 次全国調査までは、調査員につきのように指示した。

「サンプルが質問の内容を理解しないときは、質問をくりかえし、それでもわからないようなら D.K.(Don't know) とすること。質問の内容は、だれでもわかるはずの言葉を使うように心がけている。中には二、三その範囲を越えることもあろうが、統計調査であるから、この言葉で質問したとき、D.K. の人がどのくらいいたかは大切なデータとなるので、いいかえたりしないこと。」

今回の第9次調査では、前述のように、面接調査を専門調査機関に委託した。調査担当者の説明を聞く限り、調査機関とわれわれとの間に、回答肢“その他”と回答肢“D.K.”についての解釈のズレはないけれども、今回の調査では質問によってはこれらの回答肢の結果数値に断層が見られる。すなわち、今回の結果は、これまでに比べて、“その他”が少なく、“D.K.”が多めである。したがって、結果的には、“その他”と“D.K.”の調査現場での解釈に相違があったと考えざるを得ない。しかし、両者を一括すると数値に大きな差はない。

4. 質問文の体裁は調査票に印刷した通りである。回答記入欄も調査票の通りである。リスト(回答選択肢を記入して回答者に示す)を使用した質問は質問文の前に[リスト]とある。なお、回答者用のリストには回答選択肢のみを印刷し、その他、D.K. は入っていない。
5. 集計表の数字は%を示すもので、第1次から第9次までのすべての結果について、小数点以下を4捨5入してある。したがって、全選択肢の%を加算した値が、表面上100にならない場合がある。

なお、第6次までの集計表では、%の合計が100になるよう調整したが、今回はそれを行っていない。そのため、質問によっては、過去に発表した第6次までの集計表の%の値と、わずかに異なるものもあるので、注意されたい。

6. 集計表の計の欄の( )は、集計に用いたサンプルの人数である。

## §1 基本項目

### #1.1 性

### #1.2 年齢

	問	1 2	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	計
		男 女	20 25 30 35 40 45 50 55 60 65 70 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 以 24 29 34 39 44 49 54 59 64 69 上	
I (1953)	1	47 53	19 15 12 11 10 8 9 6 10	100(2,254)
II (1958)	<sup>1</sup> 101	46 54	15 14 14 10 11 8 7 7 14	100(2,369)
III (1963)	—	46 54	13 13 14 12 10 9 9 6 14	100(2,698)
IV (1968)	—	47 53	12 13 13 13 11 8 7 7 16	100(3,033)
V (1973)	K+M	45 55	14 11 12 12 12 10 8 7 14	100(4,594)
	K	46 54	14 12 12 12 12 10 7 7 14	100(3,055)
	M	43 57	13 11 12 13 12 10 9 7 13	100(1,539)
VI (1978)	K+M	44 56	10 12 12 12 11 11 8 7 17	100(3,945)
	K	44 56	9 12 12 13 11 11 9 7 16	100(2,032)
	M	43 57	10 12 13 10 11 11 8 7 18	100(1,913)
VII (1983)	K+M	44 56	9 9 12 11 11 11 10 8 6 5 7	99(4,429)
	K	44 56	9 9 12 11 11 12 10 8 6 5 7	100(2,256)
	M	45 55	9 9 13 11 10 11 10 9 6 5 7	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	45 55	10 8 9 13 10 10 9 9 8 6 8	100(3,682)
	K	45 55	9 8 10 13 10 10 8 9 8 6 9	100(1,858)
	M	44 56	11 8 8 13 11 10 10 8 8 6 8	101(1,824)
IX (1993)	K+M	46 54	7 7 8 9 12 12 10 10 10 7 8	100(3,738)
	K	46 54	7 8 8 9 12 12 10 10 10 7 8	101(1,833)
	M	47 53	7 6 9 9 12 12 10 10 10 7 8	100(1,905)

### #1.3 学歴

[学歴] あなたが、最後にいらっしゃった学校はなんですか？

- 1 小学校 [学歴なしをふくむ]
- 2 新制中学 [旧制高等小学]
- 3 新制高校 [工(商)業高校]・旧制中学校 [中学校、工(商)業学校、(高等)女学校]
- 4 大学、短大、高専 [旧制高等学校、工(商)業専門、高等工(商)業]
- 5 その他 [1～4のどれに当るか分らないときは校名記入]

	問	1 小学	2 中学	3 高校	4 大学	5 他	計
I (1953)	55	33	35	24	6	2	100(2,254)
II (1958)	32a 132a	31	37	24	7	1	100(2,369)
III (1963)	—	21	41	29	8	1	100(2,698)
IV (1968)	—	16	40	34	10	0	100(3,033)
V (1973)	K+M	15	30	41	12	2	100(4,594)
	K	15	30	42	11	2	100(3,055)
	M29	14	31	40	13	2	100(1,539)
VI (1978)	K+M	10	32	40	16	2	100(3,945)
	K	10	32	41	15	2	100(2,032)
	M	11	32	39	17	1	100(1,913)
VII (1983)	K+M	8	29	43	19	1	100(4,429)
	K	8	29	43	19	1	100(2,256)
	M	9	29	43	18	1	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	32		45	22	1	100(3,682)
	K	31		44	23	1	99(1,858)
	M	32		46	21	1	100(1,824)
IX (1993)	K+M	27		47	25	1	100(3,738)
	K40	28		46	26	0	99(1,833)
	M34	26		49	24	1	101(1,905)

# #1.4c 職業（新形式）

〔リスト〕では、あなたのお仕事の種類は、つぎのどれに当たりますか？

1	農林水産業
2	自営の商工業
3	専門、自由業（教員、医者など）
4	管理職（課長以上）
5	事務系の勤め人（ホワイトカラー）
6	作業系の勤め人（ブルーカラー）
7	主婦（専業主婦）
8	学生、無職
9	D・K

	問	1 農 林 水 産 業	2 自 営 の 商 工 業	3 専 門 ・ 自 由 業	4 管 理 職	5 事 務 系 の 勤 め 人	6 作 業 系 の 勤 め 人	7 主 婦	8 学 生 ・ 無 職	9 D ・ K	計
V (1973)	K+M	13	10	5	3	16	16	26	10	1	100(4,594)
	注) K	13	10	5	3	16	16	26	10	1	100(3,055)
	注) M30	13	11	5	2	15	16	27	10	1	100(1,539)
VI (1978)	×										
VII (1983)	×										
VIII (1988)	K+M	8	12	8	5	16	20	18	13	1	101(3,682)
	K	7	13	8	5	15	21	18	13	1	101(1,858)
	M	8	12	7	5	17	20	18	13	1	101(1,824)
IX (1993)	K+M	7	12	5	7	17	24	19	10	1	102(3,738)
	K41b	7	13	5	6	16	25	19	9	1	100(1,833)
	M35b	7	11	5	6	17	24	19	11	0	100(1,905)

注）第V次(1973)調査のコード(#1.4\*)は順序を変えて#1.4cに組み込んだ。

そのコードはつぎの順

- 3 事務系の勤め人（ホワイトカラー） 4 作業系の勤め人（ブルーカラー）  
5 専門、自由業（教員、医者など） 6 管理職（課長以上）



#### #1.4d 勤務形態

〔リスト〕あなたは、最近一週間に、何か収入を伴う仕事をしましたか。つぎの  
中のどれに当たりますか？

（仕事には自営業、農業などの手伝いや内職、パートタイム、アルバイトも含みますが、家事や通学は含みません。）

1	（少しでも仕事をした場合）	主に仕事をした
2	（       "       ）	家事などのかわら仕事もした
3	（       "       ）	通学のかかわら仕事をした
4	（少しも仕事をしなかった場合）	仕事を休んでいた
5	（       "       ）	仕事を探していた
6	（       "       ）	家事をした
7	（       "       ）	通学
8	その他（高齢など）〔記入〕	
		9 D. K.

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	問	主 に 仕 事 を し た	家 事 と 仕 事	通 学 と 仕 事	仕 事 を し た	探 し て い た	家 事 を し た	通 学 を し た	そ の 他 の D.K.	計	
IX (1993)	K+M	58	13	1	2	1	19	1	6	0	101(3,738)
	K41a	57	14	1	2	1	18	1	5	0	99(1,833)
	M35a	58	12	1	2	1	19	1	6	0	100(1,905)

## #1.5 市郡

		1	2		3	4	5	6	
		区	市					町	
	問	6	50	20	10	5	5		計
		大	万	5	5	5	万		
		都	以	50	20	10	未		
		市	上	万	万	万	満	村	
I (1953)	—	13	26				61	100 (2,254)	
II (1958)	—	15	29		12		44	100 (2,369)	
III (1963)	—	16	12		11	11	12	38	100 (2,698)
IV (1968)	—	17	17		10	12	11	33	100 (3,033)
V (1973)	K+M	18	23		9	12	10	28	100 (4,594)
	K	18	23		10	12	10	27	100 (3,055)
	M	18	23		9	12	10	28	100 (1,539)
VI (1978)	K+M	15	26		10	15	8	26	100 (3,945)
	K	15	27		10	15	8	25	100 (2,032)
	M	15	26		10	15	8	26	100 (1,913)
VII (1983)	K+M	14	8	20	11	14	7	25	99 (4,429)
	K	14	8	20	12	14	7	25	100 (2,256)
	M	14	8	20	11	14	7	25	99 (2,173)
VIII (1988)	K+M	12	9	20	11	14	7	26	99 (3,682)
	K	12	9	20	11	15	7	26	100 (1,858)
	M	13	9	21	11	13	7	26	100 (1,824)
IX (1993)	K+M	12	10	21	11	14	6	25	99 (3,738)
	K	12	10	21	11	15	6	25	100 (1,833)
	M	13	10	22	11	14	5	25	100 (1,905)

# #1.6 地方

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

中部(東)：新潟、山梨、長野、静岡

中部(西)：富山、石川、福井、岐阜、愛知

近畿：三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国：香川、愛媛、徳島、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、(V以降)沖縄

	問	1 北 海 道	2 東 北	3 関 東	4 中 部 (東)	5 中 部 (西)	6 近 畿	7 中 国	8 四 国	9 九 州	計
I (1953)	—	5	14	17	21	11	16	16			100(1,370)
II (1958)	—	5	10	25	18	14	8	5	15		100(2,369)
III (1963)	—	5	10	23	9	10	17	8	5	13	100(2,698)
IV (1968)	—	5	10	25	9	9	16	8	5	13	100(3,033)
V (1973)	K+M	4	9	28	8	10	16	9	3	13	100(4,594)
	K	4	9	28	8	10	16	9	3	13	100(3,055)
	M	5	9	28	7	11	16	9	3	12	100(1,539)
VI (1978)	K+M	4	9	28	8	11	18	7	3	12	100(3,945)
	K	4	9	28	8	11	18	7	3	12	100(2,032)
	M	4	9	28	7	11	18	7	3	13	100(1,913)
VII (1983)	K+M	4	9	29	8	10	17	7	4	12	100(4,429)
	K	4	9	29	8	10	17	7	4	12	100(2,256)
	M	5	8	28	8	10	17	7	4	12	99(2,173)
VIII (1988)	K+M	5	8	26	10	10	17	7	4	12	99(3,682)
	K	5	8	27	10	10	17	7	4	12	100(1,858)
	M	5	9	26	10	9	17	8	4	12	100(1,824)
IX (1993)	K+M	5	8	29	9	10	15	7	4	13	100(3,738)
	K	5	8	28	9	10	15	8	4	13	100(1,833)
	M	5	8	29	9	10	16	7	4	13	101(1,905)

注) 第I次(1953)調査は郡部のみ

# #1.8 帰属階級

〔リスト〕 かりに現在の日本の社会全体を、この表にかいてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅は、このどれに入りますか？

1	上	
2	中の上	
3	中の中	
4	中の下	
5	下	
6	その他〔記入〕	7 D. K.

	問	1 上	2 中の 上	3 中の 中	4 中の 下	5 下	6 他	7 D ・ K	計
VII (1983)	K+M	2	12	53	26	5	0	2	100(4,429)
	K33	2	13	53	24	5	0	2	99(2,256)
	M30	1	11	52	28	5	0	3	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	1	12	52	27	5	0	2	99(3,682)
	K32	2	12	52	27	5	0	2	100(1,858)
	M23	1	13	51	27	5	0	3	100(1,824)
IX (1993)	K+M	1	12	58	23	3	0	2	99(3,738)
	K37	1	11	57	23	4	0	3	99(1,833)
	M22	2	12	58	23	2	0	2	99(1,905)

# #1.9 所有

[リスト] つぎにあげたもののうち、お宅にはどれとどれがありますか。あるものを全部あげてください。(複数回答)

1 乗用車(営業用以外)	2 冷蔵庫
3 パソコン(マイコン)	4 応接セット
5 宅地	6 家屋(分譲マンションを含む)
7 別荘(共同所有を含む)	8 コンパクト・ディスク
9 電話	10 ビデオ・レコーダ
11 その他[記入]	12 D. K.

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
		乗	冷	パ	応	宅	家	別	レ	コ	電	ビ	D		
									ジ	ソ	デ				
					ソ	接			ッ	ハ	オ			計	
	問	用	蔵						ト	デ	ク	レ	他	・	
			コ	セ					カ	イ	ト	コ			
				ッ					丨	ス		丨		(複数回答)	
		車	庫	ン	ト	地	屋	荘	ト	ク	話	ダ	K		
Ⅶ(1983)	K+M	70	99	7	41	69	72	2	45	—	97	—	1	0	— (4,429)
	K	71	99	7	41	69	73	2	43	—	97	—	1	0	— (2,256)
	M	70	99	7	41	68	72	2	46	—	96	—	1	0	— (2,173)
Ⅷ(1988)	K+M	78	99	21	44	69	72	2	—	24	98	70	1	0	— (3,682)
	K	78	99	21	42	69	73	2	—	22	98	69	1	0	— (1,858)
	M	79	99	21	45	69	72	2	—	25	98	70	1	0	— (1,824)
Ⅸ(1993)	K+M	84	99	29	44	72	77	2	—	37	99	80	0	0	— (3,738)
	K38	85	99	29	44	74	79	3	—	37	99	80	0	0	— (1,833)
	M32	82	100	29	45	71	76	2	—	38	99	80	0	0	— (1,905)

注) 第Ⅶ次(1983)調査は 8 クレジットカード

第Ⅷ次(1988)調査から 8 コンパクトディスク、

10 ビデオ・レコーダが加わる

## § 2 個人的態度

### #2.1 しきたりに従うか

あなたは、自分が正しいと思えば世のしきたりに反しても、それをおし通すべきだと思いませんか、それとも世間のしきたりに、従った方がまちがいないと思いませんか？

1 おし通せ	
2 従え	
3 場合による	
4 その他〔記入〕	5 D. K.

	問	1 お し 通 せ	2 従 え	3 場 合 に よ る	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	4	41	35	19	1	4	100(2,254)
II (1958)	<sup>7</sup> 107	41	35	19	1	4	100(2,369)
III (1963)	7	40	32	25	1	2	100(2,698)
IV (1968)	8	42	34	20	2	2	100(3,033)
V (1973)	K11	36	32	29	1	2	100(3,055)
VI (1978)	K 6	30	42	24	2	2	100(2,032)
	K+M	29	39	29	1	2	100(4,429)
VII (1983)	K 6	30	37	30	1	2	100(2,256)
	M 5	29	40	28	1	2	100(2,173)
VIII (1988)	K 7	27	36	35	1	2	101(1,858)
IX (1993)	K 6	26	30	42	0	2	100(1,833)

## #2.2b スジかまるくか

〔リスト〕物事の『スジを通すこと』に重点をおく人と、物事を『まるくおさめること』に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか？

1 『スジを通すこと』に重点をおく人	
2 『まるくおさめること』に重点をおく人	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 ス ジ を 通 す	2 ま お る さ く め る	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	K13	44	50	4	2	100(2,032)
VII(1983)	K27	45	51	2	2	100(2,256)
VIII(1988)	K25	42	54	2	2	100(1,858)
IX(1993)	K28	38	56	2	4	100(1,833)

## #2.3c 家庭に満足か

〔リスト〕あなたは、自分の家庭に満足していますか、それとも不満がありますか？

1 満 足	2 やや満足	3 やや不満
4 不 満	5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 満 足	2 満 や 足 や	3 不 や 満 や	4 不 満	5 他	6 D. K.	計
V(1973)	M 9a	48	33	13	5	1	0	100(1,539)
VI(1978)	M 5a	54	32	8	4	0	2	100(1,913)
VII(1983)	K32a	53	33	10	3	0	1	100(2,256)
VIII(1988)	×							
IX(1993)	M20c	51	40	7	1	0	0	99(1,905)

## #2.3d 社会に満足か

〔リスト〕 あなたは、社会に対して満足していますか、それとも不満がありますか？

1 満 足	2 やや満足	3 やや不満
4 不 満	5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 満 足	2 満 や 足 や	3 不 や 満 や	4 不 満	5 他	6 D. K.	計
V (1973)	注) M9b	6	20	37	30	1	6	100(1,539)
VI (1978)	注) M5b	9	28	38	19	1	5	100(1,913)
VII (1983)	K+M	9	31	39	18	1	2	100(4,429)
	K32b	9	29	39	20	1	2	100(2,256)
	M19	9	34	39	16	1	2	101(2,173)
VIII (1988)	K+M	6	29	43	18	1	3	100(3,682)
	K31b	7	28	44	19	1	2	101(1,858)
	M20b	6	30	42	18	1	3	100(1,824)
IX (1993)	M20a	6	44	38	10	0	2	100(1,905)

注) 第V次(1973)、第VI次(1978)調査の質問文は以下のとおり。

(#2.3cに続けて)

b では、社会に対してはどうですか？

## #2.3i 仕事や職場に満足か

〔同じリスト〕 では、仕事や職場についてはどうですか？

1 満 足	2 やや満足	3 やや不満
4 不 満	5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 満 足	2 満 や 足 や	3 不 や 満 や	4 不 満	5 他	6 D. K.	計
IX (1993)	M20b	16	42	21	3	1	16	99(1,905)



### #2.3j 余暇に満足か

〔同じリスト〕では、余暇（レジャー）の過ごし方についてはどうですか？

1 満 足	2 やや満足	3 やや不満
4 不 満	5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 満 足	2 満や 足や	3 不や 満や	4 不 満	5 他	6 D. K.	計
IX(1993)	M20d	20	48	25	6	0	2	101(1,905)

### #2.3k 健康状態に満足か

〔リスト〕では、「自分の健康状態」についてはどうですか？

1 満 足	2 やや満足	3 やや不満
4 不 満	5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 満 足	2 満や 足や	3 不や 満や	4 不 満	5 他	6 D. K.	計
IX(1993)	M20e	34	41	21	4	0	0	100(1,905)

### #2.3l 生活全体に満足か

〔同じリスト〕では、自分の生活全体についてはどうですか？

1 満 足	2 やや満足	3 やや不満
4 不 満	5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 満 足	2 満や 足や	3 不や 満や	4 不 満	5 他	6 D. K.	計
IX(1993)	M20f	23	58	17	3	0	0	101(1,905)

## #2.4 くらし方

〔リスト〕人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるものうちで、どれが1番、あなた自身の気持ちに近いものですか？

1	一生けんめい働き、金持ちになること
2	まじめに勉強して、名をあげること
3	金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をする
4	その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
5	世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも清く正しくくらすこと
6	自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧 <sup>ささ</sup> げてくらすこと
7	その他〔記入〕
8	D. K.

	問	1 金 持 ち	2 名 を あ げ る	3 趣 味	4 の ん き に	5 清 く 正 し く	6 社 会 に つ く す	7 他 D. K.	8	計
I (1953)	39	15	6	21	11	29	10	4	4	100(2,254)
II (1958)	22	17	3	27	18	23	6	3	3	100( 920)
III (1963)	26	17	4	30	19	18	6	3	3	100(2,698)
IV (1968)	31	17	3	32	20	17	6	2	3	100(3,033)
V (1973)	K34	14	3	39	23	11	5	2	3	100(3,055)
VI (1978)	K19	14	2	39	22	11	7	2	3	100(2,032)
VII (1983)	K+M	18	2	38	23	9	5	2	4	101(4,429)
	K20	20	2	38	20	10	6	2	4	102(2,256)
	M20	15	2	38	26	9	4	2	3	99(2,173)
VIII (1988)	K+M	15	3	41	23	9	4	2	3	100(3,682)
	K18	17	3	38	23	9	4	2	3	99(1,858)
	M 9	13	2	44	23	9	4	2	3	100(1,824)
IX (1993)	K+M	17	3	40	26	6	4	2	3	101(3,738)
	K22	17	2	38	25	6	5	3	3	99(1,833)
	M10	16	3	41	26	6	4	1	3	100(1,905)

## #2.5 自然と人間との関係

〔リスト〕 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、1つだけえらんで下さい？

- |                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| 1 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない     |         |
| 2 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない    |         |
| 3 人間が幸福になるためには、自然を征服してゆかなければならない |         |
| 4 その他〔記入〕                        | 5 D. K. |

	問	1 自 然 に 従 え	2 自 然 を 利 用	3 自 然 を 征 服	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	34	27	41	23	1	8	100(2,254)
II (1958)	15	20	38	28	1	13	100( 920)
III (1963)	15	19	40	30	1	10	100(2,698)
IV (1968)	17	19	40	34	1	6	100(3,033)
V (1973)	K+M	31	45	17	1	6	100(4,594)
	K23	30	45	16	1	8	100(3,055)
	M20	32	44	18	1	5	100(1,539)
VI (1978)	K16	33	44	16	1	6	100(2,032)
VII (1983)	K+M	36	47	11	1	4	99(4,429)
	K17	41	41	12	1	4	99(2,256)
	M17	31	53	11	1	4	100(2,173)
VIII (1988)	K15	42	44	9	1	4	100(1,858)
IX (1993)	K19	48	38	7	0	7	100(1,833)

## #2.7 一番大切なもの

あなたにとって1番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください  
(なんでもかまいません)？

(自由回答法)

[品物、愛情、子供などなんでもよいが、こちらからは絶対に例をあげるな]

	問	1 生 命 ・ 健 康	2 子 供 供	3 家 族	4 家 祖	5 金 産	6 愛 情 精 神	7 仕 事 信 用	8 国 家 社 会	D.K そ の に な し	計
I (1953)	47	12	12	19	*	16	11	*	*	25 5	100(2,254)
II (1958)	<sup>29</sup> 129	21	11	11	*	12	21	*	*	19 5	100(2,369)
III (1963)	29	26	10	13	2	10	15	10	3	4 7	100(2,698)
IV (1968)	34	28	8	13	3	8	15	10	4	5 6	100(3,033)
V (1973)	K41	20	8	20	2	8	17	8	5	4 8	100(3,055)
VI (1978)	K32	21	7	23	1	5	22	10	3	4 4	100(2,032)
VII (1983)	K13	21	9	31	2	8	16	7	1	2 3	100(2,256)
VIII (1988)	K11	22	10	33	1	6	16	4	1	2 4	99(1,858)
IX (1993)	K10	17	10	42	1	4	14	4	1	3 4	100(1,833)

注) \*はその他に入れてある。

注) 第 I 次(1953)調査の質問文は、あなたの家で……

## #2.7b あなたの趣味は

あなたの趣味はなんですか。1つだけあげてください（なんでもかまいません）？

（自由回答法）

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
		読	文	音	美	伝	魚	旅	ド	園	ゲ	飲	買	手	料	機
						ス	つ									
						統	ポ	リ	行	ラ	芸	1				械
						1	・			・						・
						芸	ツ		イ		ム					
						・	見		飼	・						工
						運		ブ	娛							
		書	芸	楽	術	術	動	物		育	楽	食	物	芸	理	作
VII(1983)	K12	10	1	8	2	4	20	3	2	7	3	1	1	10	1	1
VIII(1988)	K10	8	1	8	2	4	22	4	4	7	3	1	1	8	2	1
IX(1993)	K 9	8	2	8	2	5	25	5	4	7	3	1	1	8	1	1

	問	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	計
		テ	家	仕	社	生	教	交	信	収	貯	そ	な	D	
		レ	族		会	き									
		ビ	団	事	活	方			仰		金		し		
		・	ら	・	動	・									
		ラ	ん	・		健			・		・	の	・	・	
		・		・		康									
		ジ	休	家	奉	づ			参		貯		全		
		オ	養	事	仕	り	養	際	詣	集	蓄	他	部	K	
VII(1983)	K12	1	1	8	1	1	2				11	1	100(2,256)		
VIII(1988)	K10	1	1	5	0	0	2				12	1	98(1,858)		
IX(1993)	K 9	1	1	3	0	0	1				12	1	100(1,833)		

## #2.8 一生働くか

もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか？

1	ずっと働く	
2	働くのをやめる	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 ず っ と 働 く	2 働 く やの めを る	3 他	4 D. K.	計
V (1973)	M 2	70	25	3	2	100(1,539)
VI (1978)	K 1	69	25	3	3	100(2,032)
	K+M	70	24	3	3	100(4,429)
VII (1983)	K 2	73	23	2	2	100(2,256)
	M 1	67	25	4	3	99(2,173)
	K+M	65	28	5	3	101(3,682)
VIII (1988)	K 3	68	25	5	2	100(1,858)
	M 1	62	30	5	3	100(1,824)
IX (1993)	M 1	60	33	2	5	100(1,905)

## #2.11 好きなくらし方か人のためか<sup>くら</sup>

〔リスト〕 あなたは、つぎの2つの暮し方のうち、どちらに賛成ですか？

- |   |                                 |
|---|---------------------------------|
| 1 | 人のためにはならなくても、自分の好きなことをしたい       |
| 2 | 自分の好きなことかどうかはともかく、人のためになることをしたい |
| 3 | その他〔記入〕                         |
| 4 | D. K.                           |

	問	1 好自 き分 なこと	2 人 なる ため に	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	M 6	35	55	5	5	100(1,913)
VII(1983)	K21a	37	55	4	5	101(2,256)
	K+M	42	49	4	4	99(3,682)
VIII(1988)	K19	40	52	5	4	101(1,858)
	M10	44	47	4	5	100(1,824)
IX(1993)	M11	44	48	2	6	100(1,905)

## #2.12 他人のためか自分のためか

たいていの人は、他人の役にたとうと思っていますか、それとも、自分のことだけに気をくばっていると思いますか？

- |   |                  |
|---|------------------|
| 1 | 他人の役にたとうとしている    |
| 2 | 自分のことだけに気をくばっている |
| 3 | その他〔記入〕          |
| 4 | D. K.            |

	問	1 他 人の 役 に	2 自 分 の こ と の だ け	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	K27	19	74	3	4	100(2,032)
VII(1983)	K 7	24	62	9	5	100(2,256)
VIII(1988)	×					
IX(1993)	K14	29	58	5	7	99(1,833)

## #2.12b スキがあれば利用されるか

他人は、スキがあれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それとも、そんなことはないと思いますか？

1 利用しようとしていると思う	
2 そんなことはないと思う	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 と利 し用 てし いよ う	2 はそ なん いな こと	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	K28	39	53	3	5	100(2,032)
VII(1983)	K 8	29	59	7	5	100(2,256)
VIII(1988)	×					
IX(1993)	K15	25	65	2	8	100(1,833)

注) 『第4 日本人の国民性』では#7.20cに分類

## #2.12c 人は信頼できるか

たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、用心するにこしたことはないと思いますか？

1 信頼できると思う	
2 用心するにこしたことはないと思う	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 信 頼 で き る	2 用 心 が し よ う な 方	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	K29	26	68	3	3	100(2,032)
VII(1983)	K 9	31	61	5	2	99(2,256)
VIII(1988)	×					
IX(1993)	K16	38	55	3	4	100(1,833)

注) 『第4 日本人の国民性』では#7.20bに分類



## #2.13 将来に備えるか楽しむか

〔リスト〕若いときは、将来に備えるための時期であり、また、楽しむための時期でもあると思います。あなたはそのどちらの方に重点をおくべきだと思いますか？

1 将来に備える方に重点をおくべきだ	
2 楽しむ方に重点をおくべきだ	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 備 将 え 来 る に 方	2 楽 し む 方	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	M7	72	23	2	3	100(1,913)
VII(1983)	×					
VIII(1988)	K20	69	27	3	2	101(1,858)
IX(1993)	M13	67	29	2	2	100(1,905)

## #2.31 関心度

〔リスト〕あなたは、つぎの項目について、どの程度関心をお持ちですか？

a まず、「定年や老後の問題」には、どの程度でしょうか？

1 あまり関心がない	
2 関心があるといえるだろう	
3 非常に関心がある	
4 その他〔記入〕	5 D. K.

	問	1 あ ま り 関 心 が な い	2 い 関 え 心 る が だ あ ろ う と	3 非 関 常 心 に が あ る	4 他	5 D. K.	計
VIII(1988)	M26a	19	40	40	0	2	101(1,824)
IX(1993)	M26a	17	39	43	0	0	99(1,905)

b では、「レジャーや余暇」については、どの程度でしょうか？

		1 あ 関ま 心り が な い	2 い関 え心 るが だあ ろる うと	3 非 関常 心に が あ る	4 他	5 D. K.	計
VIII(1988)	M26b	20	46	32	0	2	100(1,824)
IX(1993)	M26b	20	52	27	0	1	100(1,905)

c では、「日本の防衛問題」についてはどうでしょうか？

		1 あ 関ま 心り が な い	2 い関 え心 るが だあ ろる うと	3 非 関常 心に が あ る	4 他	5 D. K.	計
VIII(1988)	M26e	43	38	16	0	3	100(1,824)
IX(1993)	M26c	35	40	21	0	3	99(1,905)

## #2.32 社会への関心度

〔リスト〕あなたは、つぎのような自分を取りまくいろいろな関係について、どの程度深く考えたことがありますか？

a) まず、「自分自身の内面的な生き方」についてはどうですか？

1 深く考えたことがある	
2 少し考えたことがある	
3 考えたことはない	
4 その他〔記入〕	5 D. K.

	問	1 深 く 考 え た こ と あ え り た	2 少 し 考 え た こ と あ え り た	3 考 え た こ と あ え り た	4 そ の 他	5 D ・ K	計
IX (1993)	M27a	29	51	18	0	1	99 (1,905)

b) では、「自分と家族との関係」についてはどうですか？

	問	1 深 く 考 え た こ と あ え り た	2 少 し 考 え た こ と あ え り た	3 考 え た こ と あ え り た	4 そ の 他	5 D ・ K	計
IX (1993)	M27b	41	46	13	0	0	100 (1,905)

c) では、「自分と友人との関係」についてはどうですか？

	問	1 深 く 考 え た こ と あ え り た	2 少 し 考 え た こ と あ え り た	3 考 え た こ と あ え り た	4 そ の 他	5 D ・ K	計
IX (1993)	M27c	23	58	18	0	0	99 (1,905)

d)では、「自分と隣人、近隣との関係」についてはどうですか？

	問	1 深 こく と考 あえ りた	2 少 こし と考 あえ りた	3 考 え た なこ しと	4 そ の 他	5 D ・ K	計
IX(1993)	M27d	13	55	32	0	0	100(1,905)

e)では、「自分と職場との関係」についてはどうですか？

	問	1 深 こく と考 あえ りた	2 少 こし と考 あえ りた	3 考 え た なこ しと	4 そ の 他	5 D ・ K	計
IX(1993)	M27e	28	40	24	1	7	100(1,905)

f)では、「自分と国家との関係」についてはどうですか？

	問	1 深 こく と考 あえ りた	2 少 こし と考 あえ りた	3 考 え た なこ しと	4 そ の 他	5 D ・ K	計
IX(1993)	M27f	5	32	60	0	2	99(1,905)

g)では、「自分と国際社会との関係」についてはどうですか？

	問	1 深 こく と考 あえ りた	2 少 こし と考 あえ りた	3 考 え た なこ しと	4 そ の 他	5 D ・ K	計
IX(1993)	M27g	4	27	66	0	3	100(1,905)

## #2.80 病気

〔リスト〕ここ1ヶ月の間に<sup>へんずつ</sup>つぎにあげるものに悩みましたか（かかりましたか）？

a) まず、「頭痛、偏頭痛」についてはどうですか？

1	かかったことあり	
2	かかったことなし	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 か こか とっ あた り	2 か こか とっ なた し	3 そ の 他	4 D . K	計
IX (1993)	M25a	25	75	0	0	100 (1, 905)

b) では、「背中の痛み」についてはどうですか？

	問	1 か こか とっ あた り	2 か こか とっ なた し	3 そ の 他	4 D . K	計
IX (1993)	M25b	25	74	0	0	99 (1, 905)

c) では、「いらいら」についてはどうですか？

	問	1 か こか とっ あた り	2 か こか とっ なた し	3 そ の 他	4 D . K	計
IX (1993)	M25c	38	62	0	0	100 (1, 905)

d)では、「うつ状態」についてはどうですか？

		1	2	3	4	
	問	か	か	そ	D	
		こか	こか			
		とっ	とっ	の	・	計
		あた	なた			
		り	し	他	K	
IX (1993)	M25d	8	92	0	0	100(1,905)

e)では、「不眠症」についてはどうですか？

		1	2	3	4	
	問	か	か	そ	D	
		こか	こか			
		とっ	とっ	の	・	計
		あた	なた			
		り	し	他	K	
IX (1993)	M25e	15	85	0	0	100(1,905)

## 8 3 宗 教

### #3.1 宗教を信じるか

宗教についておききしたいのですが、

たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか？

- |                       |
|-----------------------|
| 1 もっている、信じている         |
| 2 もっていない、信じていない、関心がない |

	問	1 信 じ て い る	2 信 じ て い な い	計
I (1953)	×			
II (1958)	16a	35	65	100 ( 920)
III (1963)	28a	31	69	100 (2, 698)
IV (1968)	33a	30	70	100 (3, 033)
V (1973)	K19a	25	75	100 (3, 055)
VI (1978)	K11a	34	66	100 (2, 032)
VII (1983)	K15a	32	68	100 (2, 256)
VIII (1988)	K13a	31	69	100 (1, 858)
IX (1993)	K12a	33	67	100 (1, 833)

### #3.2b 「宗教心」は大切か

それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか？

1 大 切	2 大切でない
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 大 切	2 大 な 切 い で	3 他	4 D. K.	計
VII(1983)	K15b	80	11	5	4	100(2,256)
VIII(1988)	K13b	72	15	8	5	100(1,858)
IX(1993)	K12b	72	14	3	11	100(1,833)

注) 第Ⅱ次(1958)～第Ⅵ次(1978)調査では前問 #3.1 の答が 2 の人のみに質問、第Ⅶ次(1983)調査以降は全員に質問した。

#### [参考]

### #3.2 「宗教心」は大切か

〔これは前問 #3.1 の答が 1 の人には質問しない〕 それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか？

1 大 切	2 大切でない
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 大 切	2 大 な 切 い で	3 他	4 D. K.	計
I(1953)	×					
II(1958)	16c	72	16	2	10	100( 655)
III(1963)	28b	77	13	4	6	100(1,863)
IV(1968)	33b	76	14	5	5	100(2,113)
V(1973)	K19b	69	15	6	10	100(2,303)
VI(1978)	K11b	74	13	4	9	100(1,335)



### #3.9 首相の伊勢参り

あたらし<sup>こうたい</sup>く総理大臣になったとき、伊勢の皇大神宮にお参りに行く人がありますが、あなたはこのことをどう思いますか？

1 行かねばならぬ	2 行った方がよい
3 本人の自由だ	4 行かない方がよい
5 行くべきではない	
6 その他〔記入〕	7 D. K.

	問	1 行 か な ら ぬ	2 行 っ た よ う い が	3 本 人 の 自 由	4 行 か な い 方	5 行 く は べ き い で	6 他	7 D ・ K	計
I (1953)	14	7	50	23	6	2	2	10	100(2,254)
II (1958)	110	5	33	27	12	5	2	16	100(1,449)
III (1963)	10	4	28	41	9	5	3	10	100(2,698)
IV (1968)	11	3	28	33	14	6	6	10	100(3,033)
V (1973)	K14	4	21	48	10	5	3	9	100(3,055)
VI (1978)	K 7	3	17	51	7	5	8	9	100(2,032)
VII (1983)	M 6	2	19	52	6	4	9	8	100(2,173)
VIII (1988)	K 9	2	16	59	6	4	7	6	100(1,858)
IX (1993)	K 8	2	17	64	6	3	1	8	101(1,833)

## § 4 子供・家

### § 4.1 子 供

#### #4.4 先生が悪いことをした

「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれがほんとうであることを知っている場合、子供には

「そんなことはない」

といった方がよいと思いますか、それとも

「それはほんとうだ」

といった方がよいと思いますか？

1 そんなことはないという	2 ほんとうだという
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 そ なん いな とこ いと うは	2 本 当 だ と い う	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	9	38	42	13	7	100(2,254)
II (1958)	6	38	41	10	11	100( 920)
III (1963)	4	32	50	10	8	100(2,698)
IV (1968)	4	29	52	11	8	100(3,033)
V (1973)	K 5	31	54	6	9	100(3,055)
VI (1978)	K 4	27	57	8	8	100(2,032)
VII (1983)	K 4	26	59	9	6	100(2,256)
VIII (1988)	K 5	23	62	9	6	100(1,858)
IX (1993)	K 4	24	59	6	11	100(1,833)

#### #4.5 子供に「金は大切」と教える

小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。  
「小さいときから、お金は人にとって、いちばん大切なものだと教えるのがよい」  
というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛 成	
2 反 対	
3 いちがいにはいない	
4 その他〔記入〕	5 D. K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 はい いち えが ない いに	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	24a1	65	24	9	0	2	100 (2, 254)
II (1958)	×						
III (1963)	5	60	23	15	1	1	100 (2, 698)
IV (1968)	5	57	28	12	1	2	100 (3, 033)
V (1973)	K 6	44	38	17	1	0	100 (3, 055)
VI (1978)	K 5	45	40	13	1	1	100 (2, 032)
	K+M	43	42	13	1	1	100 (4, 429)
VII (1983)	K 5	43	42	13	1	1	100 (2, 256)
	M 4	43	41	14	1	1	100 (2, 173)
VIII (1988)	K 6	35	47	16	1	1	100 (1, 858)
IX (1993)	K 5	35	45	18	0	1	99 (1, 833)

## §4.2 家

### #4.10 他人の子供を養子にするか

子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか？

1 つがせた方がよい	2 つがせないでもよい、意味がない
3 場合による	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 つ が せ る	2 つ が せ な い	3 場 合 に よ る	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	28 <sub>01</sub>	73	16	7	1	3	100(2,254)
II (1958)	106	63	21	8	1	7	100(1,449)
III (1963)	2	51	32	12	1	4	100(2,698)
IV (1968)	2	43	41	9	2	5	100(3,033)
V (1973)	K 3	36	41	17	1	5	100(3,055)
VI (1978)	K 3	33	48	12	1	6	100(2,032)
VII (1983)	M 3	27	51	15	2	5	100(2,173)
VIII (1988)	K 2	28	52	15	2	3	100(1,858)
IX (1993)	K 2	22	56	16	1	5	100(1,833)

#### #4.11 先祖を尊ぶか

あなたはどちらかといえば、先祖を尊ぶ方ですか、それとも尊ばない方ですか？

1 尊 ぶ	
2 普 通	
3 尊ばない方	
4 その他〔記入〕	5 D. K.

	問	1 尊 ぶ	2 普 通	3 尊 ば な い 方	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	3	77	15	5	1	2	100(2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	K20	67	21	10	1	1	100(3,055)
VI (1978)	K10	72	16	10	1	1	100(2,032)
VII (1983)	K14	71	15	13	1	1	101(2,256)
VIII (1988)	K12	66	21	12	1	1	101(1,858)
IX (1993)	K11	65	27	7	0	1	100(1,833)

#### #4.33 お盆は親族で

〔リスト〕 あなたはお盆の頃、いつもは別々に住んでいる親族と一緒に時を過ごしたいと思いますか。つぎのどれですか？

1	必ず過ごしたいと思う	
2	できれば過ごしたいと思う	
3	あまり過ごしたいとは思わない	
4	過ごしたいとは思わない	
5	その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1	2	3	4	5	6	計
		必	過で	しあ	と過		D	
		ず	ごき	たま	思ご			
		過	しれ	くり	わし	他		
		たご	たば	な過	なた			
		いし	い	いご	いい		K	
IX (1993)	K24	24	61	8	4	0	2	99(1,833)

## 8 5 身近な社会

### #5.1 恩人がキトクするとき

〔絵を見せながら〕南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受けとったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。

〔ここでリストを見せる〕あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい？

1	なにをいっても、すぐ故郷へ帰る	
2	故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 故 郷 へ 帰 る	2 会 議 に 出 る	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	41	54	41	1	4	100(2,254)
II (1958)	111a	50	39	2	9	100(1,449)
III (1963)	13a	46	46	2	6	100(2,698)
IV (1968)	15a	46	47	2	5	100(3,033)
V (1973)	K21a	51	40	2	7	100(3,055)
VI (1978)	K15a	51	42	2	5	100(2,032)
	K+M	52	41	2	5	100(4,429)
VII (1983)	K16a	52	41	3	4	100(2,256)
	M16a	52	41	2	5	100(2,173)
VIII (1988)	K14a	52	41	3	4	100(1,858)
IX (1993)	K18a	49	42	1	8	100(1,833)

# #5.1b 親がキトクするとき

〔質問 a と同じ絵、同じリストで〕 いまの質問では、恩人が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトクなのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか、どちらかえらんで下さい？

1	なにをしておいてもすぐ故郷へ帰る	
2	故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 故 郷 へ 帰 る	2 会 議 に 出 る	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	42	49	48	1	2	100(2,254)
II (1958)	111b	50	41	2	7	100(1,449)
III (1963)	13b	45	47	2	6	100(2,698)
IV (1968)	15b	44	49	3	4	100(3,033)
V (1973)	K21b	51	41	2	6	100(3,055)
VI (1978)	K15b	49	44	1	6	100(2,032)
	K+M	49	45	2	4	100(4,429)
VII (1983)	K16b	49	45	2	3	99(2,256)
	M16b	49	45	2	4	100(2,173)
VIII (1988)	K14b	53	41	2	4	100(1,858)
IX (1993)	K18b	48	44	1	7	100(1,833)



#5.1 恩人がキトクのと き×#5.1b 親がキトクのと き

	恩 人	1 故 郷	2 故 郷	3 会 議	4 会 議	5 そ の 組 他 合 の せ	計
	親	会 議	故 郷	故 郷	会 議		
I (1953)	41. 42	15	38	9	31	6	99(2,254)
II (1958)	111 ab	11	37	10	27	14	99(1,449)
III (1963)	13 ab	10	34	10	35	11	100(2,698)
IV (1968)	15 ab	13	32	11	35	9	100(3,033)
V (1973)	K21 ab	9	40	8	30	12	99(3,055)
VI (1978)	K15 ab	12	38	9	31	9	99(2,032)
	K+M	13	38	9	31	9	100(4,429)
VII (1983)	K16 ab	12	38	9	31	9	99(2,256)
	M16 ab	13	37	10	31	9	100(2,173)
VIII (1988)	K14 ab	10	41	10	30	10	101(1,858)
IX (1993)	K18 ab	9	40	6	35	10	100(1,833)

# #5.1c-1入社試験

〔リスト〕 あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。

あなたはどちらをとれ（採用しろ）といえますか？

1	1番の人を採用するようにいう	
2	親戚を採用するようにいう	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 番 の 人	2 親 戚 の 人	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20a	75	19	2	4	100(2,698)
IV (1968)	22a	78	17	2	3	100(3,033)
	K+M	73	19	1	7	100(4,594)
V (1973)	K28a	73	19	1	7	100(3,055)
	M16a	72	19	2	7	100(1,539)
VI (1978)	K21a	72	23	2	3	100(2,032)
	K+M	70	23	3	4	100(4,429)
VII (1983)	K22a	71	23	2	4	100(2,256)
	M21a	70	23	3	4	100(2,173)
VIII (1988)	K21a	70	24	3	3	100(1,858)
IX (1993)	K25a	67	24	1	8	100(1,833)

# #5.1c-2入社試験

〔つぎのリスト〕 それでは、このばあい、2番になったがあなたの親戚の子供でなくて、あなたの恩人の子供だったとしたら、あなたは どうしますか？（どちらをとれといいますか？）

1	1番の人を採用するようにいう	
2	恩人の子供を採用するようにいう	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 1番 の 人	2 恩 人 の 子	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20b	48	44	2	6	100 (2,698)
IV (1968)	22b	54	39	2	5	100 (3,033)
V (1973)	K+M	52	38	2	8	100 (4,594)
	K28b	52	39	2	7	100 (3,055)
	M16b	52	38	1	9	100 (1,539)
VI (1978)	K21b	47	46	2	5	100 (2,032)
VII (1983)	K+M	46	47	2	5	100 (4,429)
	K22b	46	47	2	5	100 (2,256)
	M21b	47	46	3	5	101 (2,173)
VIII (1988)	K21b	45	49	3	4	101 (1,858)
IX (1993)	K25b	45	44	2	9	100 (1,833)

#5.1c-1入社試験（親戚）×#5.1c-2入社試験（恩人の子）

	親 戚	1 番	2 親 戚	3 親 戚	4 1 番	5 そ の 組 他 合 の せ	計
	の恩 子人	恩 人	恩 人	1 番	1 番		
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	20 <sub>ab</sub>	25	17	2	46	10	100(2,698)
IV (1968)	22 <sub>ab</sub>	23	14	2	52	10	101(3,033)
	K+M	20	17	2	50	13	102(4,594)
V (1973)	K28 <sub>ab</sub>	20	17	2	50	12	101(3,055)
	M16 <sub>ab</sub>	21	16	2	49	13	102(1,539)
VI (1978)	K21 <sub>ab</sub>	25	20	2	45	8	100(2,032)
	K+M	24	21	2	44	9	100(4,429)
VII (1983)	K22 <sub>ab</sub>	24	21	2	44	9	100(2,256)
	M21 <sub>ab</sub>	23	20	2	44	10	99(2,173)
VIII (1988)	K21 <sub>ab</sub>	26	21	2	42	9	100(1,858)
IX (1993)	K25 <sub>ab</sub>	21	22	2	43	12	100(1,833)

# #5.1d 大切な道徳

〔リスト〕 つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか？

1	親孝行をすること	
2	恩返しをすること	
3	個人の権利を尊重すること	
4	自由を尊重すること	
5	その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 親 孝 行	2 恩 返 し	3 権 利 尊 重	4 自 由 尊 重	5 他	6 D. K.	計 (複数回答)
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	17	61	43	48	40	1	4	— (2,698)
IV (1968)	20	61	45	44	46	0	2	— (3,033)
V (1973)	K26	63	43	45	43	1	2	— (3,055)
VI (1978)	K18	70	47	38	39	0	2	— (2,032)
VII (1983)	K19	73	50	36	37	0	1	— (2,256)
VIII (1988)	K17	71	47	36	42	0	1	— (1,858)
IX (1993)	K21	69	43	38	42	3	2	— (1,833)

#5.1d 大切な道徳の組合せ

	問	1 孝 行 × 恩 返	2 孝 行 × 権 利	3 孝 行 × 自 由	4 恩 返 × 権 利	5 恩 返 × 自 由	6 権 利 × 自 由	7 は孝 恩行 のみ み又	8 は権 自利 のみ み又	9 その 組他 合の せ	計
I (1953)	×										
II (1958)	×										
III (1963)	17	28	19	12	8	7	21	1	1	3	100(2,698)
IV (1968)	20	28	15	18	8	8	20	1	1	2	101(3,033)
V (1973)	K26	28	17	16	8	6	20	1	1	3	100(3,055)
VI (1978)	K18	34	17	19	7	7	14	1	0	2	101(2,032)
VII (1983)	K19	36	18	18	6	7	12	1	0	1	99(2,256)
VIII (1988)	K17	34	16	21	6	7	14	1	1	1	101(1,858)
IX (1993)	K21	31	17	20	6	6	15	0	0	4	99(1,833)

# #5.6 めんどうをみる課長

〔リスト〕ある会社につぎのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか、どちらか1つあげてください？

- |   |   |         |
|---|---|---------|
| 1 | 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことで人のめんどうを見ません   |         |
| 2 | 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます |         |
| 3 | その他〔記入〕   | 4 D. K. |

	問	1 め ん みど なう いを	2 め ん ど みう るを	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	35	12	85	1	2	100 (2, 254)
II (1958)	117	14	77	2	7	100 (1, 449)
III (1963)	21	13	82	1	4	100 (2, 698)
IV (1968)	23	12	84	1	3	100 (3, 033)
V (1973)	K29	13	81	1	5	100 (3, 055)
VI (1978)	K22	10	87	1	2	100 (2, 032)
VII (1983)	K+M	9	89	1	2	101 (4, 429)
	K23	8	89	0	2	99 (2, 256)
	M22	9	88	1	2	100 (2, 173)
VIII (1988)	K+M	10	87	1	2	100 (3, 682)
	K22	10	88	1	2	101 (1, 858)
	M18	10	87	1	3	101 (1, 824)
IX (1993)	K26	12	82	0	5	99 (1, 833)

# #5.6b つとめたい会社

〔リスト〕 つぎのような2つの会社があるとします。もしあなたがつとめるとしたら、どちらの会社の方がよいですか？

1 給料は多いが、レクリエーションのための運動会や旅行などはしない会社	
2 給料はいくらか少ないが、運動会や旅行などをして、家族的な雰囲気のある会社	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 多給 い料 会が 社	2 家 族 的 雰 囲 気 な	3 他	4 D. K.	計
V (1973)	M18	21	74	1	4	100(1,539)
VI (1978)	K23	18	78	1	3	100(2,032)
VII (1983)	×					
VIII (1988)	×					
IX (1993)	M19	30	65	1	4	100(1,905)

# #5.6h 他人との仲か仕事か

〔リスト〕 つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか？

1 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事の上ではパッとしない人	
2 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 仲他 が人 よと い	2 仕 で事 きよ るく	3 他	4 D. K.	計
VI (1978)	K14	72	11	7	10	100(2,032)
VII (1983)	K26	75	11	6	8	100(2,256)
VIII (1988)	×					
IX (1993)	K27	77	12	3	9	101(1,833)



### #5.23 能力か功労か

会社で給料や賃金を決めるときに、その人の現在の能力を重視して決めるべきだと思いますか、それとも、その人のこれまでの会社に対する功労を重視して決めるべきだと思いますか？

1	その人の現在の能力を重視して決めるべきだ	
2	その人のこれまでの会社に対する功労を重視して決めるべきだ	
3	その他[記入]	4 D. K.

	問	1 能力 重視	2 功 労 重視	3 他	4 D. K.	計
IX (1993)	M 8	59	30	4	8	101 (1,905)

### #5.24 勤め先を変えるか

[リスト] 勤め先を変えることについて、つぎのような2つの意見があります。  
あなたはどちらに賛成ですか？

1	いまよりよい条件の勤め先があれば、かわった方がよい	
2	いまよりよい条件の勤め先があっても、一つの勤め先にながく勤めるのがよい	
3	その他[記入]	4 D. K.

	問	1 か わ が つ よ た い 方	2 る な の が が く よ 勤 い め	3 他	4 D. K.	計
IX (1993)	M17	41	52	1	6	100 (1,905)

## #5.25 リーダーの条件

〔リスト〕 職場でのよきリーダーはどんな資質を持っているべきでしょうか。重要なもの 3 つをつぎの中から選んでください？

1	部下に利益をもたらすこと	
2	部下に尊敬され、好かれること	
3	技術的にすぐれていること	
4	仕事仲間に誠意をもって接すること	
5	若くて有能であること	
6	人間関係がよく、顔が広いこと	
7	その他〔記入〕	8 D. K.

〔上の質問では、3つの項目をあげてもらうこと〕

	問	1 部下 に利 益	2 部下 に尊 敬	3 技 術 的 に 優 れ る	4 仲 間 に 誠 意	5 若 く て 有 能	6 人 間 関 係 が よ い	7 他	8 D. K.	計
IX (1993)	M18	21	77	47	69	7	49	8	3	— (1,905)

## #5.81 生活領域の重要性

〔リスト〕 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って 1～7 の評価をつけてください。

a) まず、「家族や子供」についてはどうですか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9
重要で ない						重要	その他 〔記入〕	D. K.

	問	1 重 要 で な い	2	3	4	5	6	7 重 要	8 そ の 他	9 D ・ K	計
IX (1993)	M14a	1	1	1	4	8	10	75	0	0	100 (1,905)

b) では、「職業や仕事」についてはどうですか？

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		重						重	そ	D	
		要							の	・	
		で									
		な									
		い						要	他	K	
IX(1993)	M14b	1	1	4	14	18	21	37	0	2	98(1,905)

c) では、「自由になる時間とくつろぎ」についてはどうですか？

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		重						重	そ	D	
		要							の	・	
		で									
		な									
		い						要	他	K	
IX(1993)	M14c	0	2	6	21	24	20	26	0	1	100(1,905)

d) では、「友人、知人」についてはどうですか？

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		重						重	そ	D	
		要							の	・	
		で									
		な									
		い						要	他	K	
IX(1993)	M14d	0	1	3	13	22	26	34	0	0	99(1,905)

## § 6 男 女 の 差 異

### #6.2 男・女の生まれかわり

もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに、生まれてきたいと思いますか？

1 男に	2 女に	3 その他 [記入]	4 D. K.
------	------	------------	---------

		問	1 男 に	2 女 に	3 他	4 D. K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	90	5	4	1	100( 684)
	III (1963)	1a	88	7	3	2	100(1,252)
	IV (1968)	1a	89	5	4	2	100(1,427)
	V (1973)	K+M	89	5	2	4	100(2,063)
		K1a	89	6	2	3	100(1,395)
		M1a	90	5	3	2	100( 668)
	VI (1978)	M1a	90	4	3	3	100( 832)
	VII (1983)	K 1	90	5	3	2	100( 988)
	VIII (1988)	K 1	90	4	4	2	100( 837)
	IX (1993)	K 1	88	3	3	6	100(1,833)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	64	27	6	3	100( 765)
	III (1963)	1a	55	36	5	4	100(1,446)
	IV (1968)	1a	43	48	4	5	100(1,606)
	V (1973)	K+M	42	51	3	4	100(2,531)
		K1a	42	51	3	4	100(1,660)
		M1a	43	50	3	4	100( 871)
	VI (1978)	M1a	41	52	3	4	100(1,081)
	VII (1983)	K 1	39	56	3	2	100(1,268)
	VIII (1988)	K 1	34	59	5	2	100(1,021)
	IX (1993)	K 1	29	65	1	4	99(1,833)

# #6.2e 男の子と女の子

子供を一人だけもつとしたら、男の子の方がよいですか、女の子の方がよいですか、それとも、どちらでもよいですか？

1 男の子	2 女の子
3 どちらでもよい	
4 その他〔子供はいらない、など〕	5 D. K.

	問	1 男 の 子	2 女 の 子	3 で ど も ち よ ら い	4 他	5 D. K.	計
VIII(1988)	M 2	32	29	37	1	1	100(1,824)
IX(1993)	M 2	33	36	30	0	1	100(1,905)

# #6.5 男女の能力差

生まれつき、物事を考えたり、まとめたりする能力は、男と女で差があると思いますか？

1 差あり	2 差なし	3 その他〔記入〕	4 D. K.
-------	-------	-----------	---------

	問		1 差 あ り	2 差 な し	3 他	4 D. K.	計
II(1958)	120	男 女	62 63	31 28	2 2	5 7	100( 684) 100( 765)
			(Ⅲ～Ⅶは調査なし)				
VIII(1988)	M 5	男 女	55 53	41 41	2 3	3 4	101( 805) 101(1,019)
IX(1993)	M 5	男 女	51 48	43 45	2 2	5 4	100( 888) 99(1,017)

#### #6.6 年下の上役と女の上役

あなたは、職場の自分の上役が年下の場合と、自分の上役が女性の場合とでは、どちらがいやだと思いますか？

1 年下の上役の方がいやだ	
2 女性の上役の方がいやだ	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 年 下 が い や	2 女 性 が い や	3 他	4 D. K.	計
VIII(1988)	M 7	36	38	17	9	100(1,824)
IX(1993)	M 7	36	36	11	17	100(1,905)

## 8 7 一般の社会的問題

### #7.1 人間らしさはへるか

こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成 [人間らしさはへる]	
2 いちがいにはいけない	
3 反対 [人間らしさ不変、ふえる]	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 賛 成	2 はい いち えが ない いに	3 反 対	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	5	30	17	35	1	17	100 (2, 254)
II (1958)	3	33	17	34	0	16	100 ( 920)
III (1963)	6	37	22	28	1	12	100 (2, 698)
IV (1968)	7	40	16	35	1	8	100 (3, 033)
V (1973)	K10	50	21	22	1	6	100 (3, 055)
VI (1978)	K 2	43	21	30	1	5	100 (2, 032)
	K+M	48	20	28	1	4	101 (4, 429)
VII (1983)	K 3	46	19	30	1	3	99 (2, 256)
	M 2	49	20	26	1	4	100 (2, 173)
VIII (1988)	K 4	47	24	26	1	3	101 (1, 858)
IX (1993)	K 3	51	26	19	0	3	99 (1, 833)

## #7.2 心の豊かさはへらないか

こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはない」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 反対 [へる]	
2 いちがいにいえない	
3 賛成 [へらない]	
4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 反 へ る 対	2 い いち えが ない いに	3 賛 へ ら な い成	4 他	5 D.K.	計
I (1953)	29	17	8	58	1	16	100(2,254)
II (1958)	24	21	10	52	1	16	100( 920)
III (1963)	12	18	19	49	1	13	100(2,698)
IV (1968)	13	22	13	56	1	8	100(3,033)
V (1973)	K18	31	20	42	1	6	100(3,055)
VI (1978)	K12	25	15	53	1	6	100(2,032)
VII (1983)	M 8	31	17	46	1	5	100(2,173)
VIII (1988)	K27	33	22	42	1	3	101(1,858)
IX (1993)	K13	25	24	47	0	4	100(1,833)



#### #7.4 日本と個人の幸福

〔リスト〕あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください？

- |   |                             |         |
|---|-----------------------------|---------|
| 1 | 個人が幸福になって、はじめて日本全体がよくなる     |         |
| 2 | 日本がよくなって、はじめて個人が幸福になる       |         |
| 3 | 日本がよくなることも、個人が幸福になることも同じである |         |
| 4 | その他〔記入〕                     | 5 D. K. |

	問	1 個 人 ↓ 日 本	2 日 本 ↓ 個 人	3 日 本    個 人	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	45	25	37	31	1	6	100(2, 254)
II (1958)	×						
III (1963)	16	30	30	34	0	6	100(2, 698)
IV (1968)	19	27	32	36	1	4	100(3, 033)
V (1973)	K25	30	26	37	0	7	100(3, 055)
VI (1978)	K17	27	27	41	0	5	100(2, 032)
VII (1983)	K18	25	30	40	1	4	100(2, 256)
VIII (1988)	K16	29	25	42	0	4	100(1, 858)
IX (1993)	K20	30	26	40	0	4	100(1, 833)

#### #7.4b 国の繁栄と国民の生活

〔リスト〕 国の繁栄ということについて、つぎの2つの意見があります。

あなたはどちらの意見に賛成ですか？

- |  |         |
|--|---------|
| 1 国が繁栄しても、一部の人がもうけるばかりで、国民ひとりひとりの生活はよくならない |         |
| 2 国が繁栄すれば、国民ひとりひとりの生活もよくなる                 |         |
| 3 その他〔記入〕                                  | 4 D. K. |

	問	1 よ く な い ら	2 よ く な る	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	M20	37	57	1	5	100(1,913)
VII(1983)	K30	33	63	1	3	100(2,256)
VIII(1988)	K29	47	48	1	3	99(1,858)
IX(1993)	K30	40	55	1	4	100(1,833)

#### #7.19 才能か運か

いまの社会で成功している人をみて、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割をはたしていると思いますか？

- |            |          |
|------------|----------|
| 1 個人の才能や努力 | 2 運やチャンス |
| 3 その他〔記入〕  | 4 D. K.  |

	問	1 才 能 や 努 力	2 運 ち や っ し ん	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	M 2	45	38	9	8	100(1,913)
VII(1983)	×					
VIII(1988)	M 6	49	35	12	5	101(1,824)
IX(1993)	M 6	52	35	8	5	100(1,905)

## #7.20 自分の責任か

〔リスト〕 つぎのような意見があります。

「人の身の上に起きることは、よいことでもわるいことでも、その人の責任だ」  
 というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、反対ですか？

1 賛 成	2 やや賛成
3 やや反対	4 反 対
5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 賛 成	2 やや 賛 成	3 やや 反 対	4 反 対	5 他	6 D. K.	計
VI(1978)	M11a	32	28	16	15	2	7	100(1,913)
VII(1983)	×							
VIII(1988)	×							
IX(1993)	K23	23	35	21	13	1	6	99(1,833)

#### #7.24 就職の第1の条件

a [リスト] ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。

あなたは、どれに1番関心がありますか？

1	かなりよい給料がもらえること	
2	倒産や失業の恐れがない仕事	
3	気の合った人たちと働くこと	
4	やりとげたという感じがもてる仕事	
5	その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 よい 給料	2 失業 の恐 れい れ	3 気 の合 う仲 間	4 や り が 仕 事 の	5 他	6 D. K.	計
VI (1978)	K24a	7	23	30	38	0	2	100(2,032)
	K+M	7	17	33	40	1	2	100(4,429)
VII (1983)	K25	7	16	33	42	1	2	101(2,256)
	M23	8	19	33	37	1	2	100(2,173)
	K+M	10	16	36	36	1	2	101(3,682)
VIII (1988)	K24	9	14	35	39	1	1	99(1,858)
	M17	10	17	36	34	1	2	100(1,824)
IX (1993)	M16a	12	20	31	33	0	3	99(1,905)

#### #7.24b 就職の第2の条件

b [同じリスト] では、2番目はどれですか？

	問	1 よい 給料	2 失業 の恐 れい れ	3 気 の合 う仲 間	4 や り が 仕 事 の	5 他	6 D. K.	計
VI (1978)	K24b	20	24	31	23	0	2	100(2,032)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	×							
IX (1993)	M16b	22	20	29	22	0	6	99(1,905)

## #7.25 お金と仕事

〔リスト〕仕事について、つぎの2つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか？

- |   |                               |         |
|---|-------------------------------|---------|
| 1 | いくらお金があっても、仕事がなければ、人生はつまらない   |         |
| 2 | お金があれば、仕事がなくとも、人生がつまらないとは思わない |         |
| 3 | その他〔記入〕                       | 4 D. K. |

	問	1 ば仕 つ事 まが らな なけ いれ	2 仕 事 が もな よく いて	3 他	4 D. K.	計
VII(1983)	K24	83	14	1	2	100(2,256)
	K+M	77	19	1	2	99(3,682)
VIII(1988)	K23	80	17	1	2	100(1,858)
	M11	75	21	2	2	100(1,824)
IX(1993)	M12	75	22	0	3	100(1,905)

## #7.29 くらしむき

〔リスト〕現在のお宅のくらしむきは、次の5つに分けるとすれば、どれに当てるでしょうか？

- |   |         |   |       |
|---|---------|---|-------|
| 1 | 非常に豊か   | 2 | やや豊か  |
| 3 | ふつう     | 4 | やや貧しい |
| 5 | 非常に貧しい  |   |       |
| 6 | その他〔記入〕 | 7 | D. K. |

	問	1 非 常 に 豊 か	2 や や 豊 か	3 ふ つ う	4 や 貧 し い	5 非 常 に 貧 しい	6 他	7 D ・ K	計
VIII(1988)	M12	1	10	72	14	2	0	0	99(1,824)
IX(1993)	M15	1	12	73	11	2	0	0	99(1,905)

# #7.29b たけのこ生活

〔リスト〕 仮りの話ですが、もし何かの事情で貯金や財産だけで生活しなければいけなくなったとしたら、お宅は、何年位生活できると思いますか？

1 1年未満	2 1～2年	3 3～5年
4 6～9年	5 10年以上	
6 その他〔記入〕		7 D. K.

	問	1 年 未 満	2 1 ～ 2 年	3 3 ～ 5 年	4 6 ～ 9 年	5 10 年 以 上	6 他	7 ・ K	計
VII(1988)	M24	26	23	20	9	11	2	10	101(1,824)
IX(1993)	M31	27	22	21	7	11	0	12	100(1,905)

# #7.30a 生活水準 10 年の変化

〔リスト〕 あなたの生活水準は、この 10 年間でどう変わりましたか？

1 よくなった	2 ややよくなった
3 変わらない	4 ややわるくなった
5 わるくなった	
6 その他〔記入〕	7 D. K.

	問	1 よ く な っ た	2 やや よ く な っ た	3 変 ら な い	4 やや な わ る な く な っ た	5 わ る な く な っ た	6 他	7 ・ K	計
VII(1983)	M14a	17	32	35	10	4	0	1	99(2,173)
VII(1988)	M25	10	31	43	10	4	0	1	99(1,824)
IX(1993)	M24	9	31	46	10	3	0	1	100(1,905)

### #7.35 環境の保護は重要か

〔リスト〕 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか？

1 非常に重要である	2 重要である
3 あまり重要ではない	4 重要ではない
5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 非 常 に 重 要	2 重 要	3 あ ま り 重 要 い	4 重 要 な 重 要 い	5 他	6 D ・ K	計
VII(1983)	M27b	37	50	9	1	1	3	101(2,173)
VIII(1988)	×							
IX(1993)	K36	50	43	5	0	0	2	100(1,833)

### #7.36 科学上の発見・利用は生活に役立つか

〔リスト〕 科学上の発見とその利用は、どの程度あなたの日常生活の改善に役立っていると思いますか？

1 役立っている	2 少しは役立っている
3 役立っていない	
4 その他〔記入〕	5 D. K.

	問	1 役 立 っ て い る	2 役 少 立 し っ は て い る	3 役 立 っ て い な い	4 他	5 D ・ K	計
VII(1983)	M28	39	48	7	1	4	99(2,173)
VIII(1988)	×						
IX(1993)	K35	47	41	6	0	6	100(1,833)

#### #7.40 社会は公平か

〔リスト〕一般的に言って、今の日本の社会は公平だと思いますか。あなたの気持は、つぎのうちのどれに近いですか。

1 公平だ	2 だいたい公平だ
3 あまり公平でない	4 公平でない
5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 公	2 だ	3 公あ い 平ま た であり 公い な 平 平 い	4 公 平 で な い	5 他	6 D ・ K	計
IX (1993)	M23	3	33	47	15	0	2	100 (1,905)

#### #7.82 アリとキリギリス

〔リスト〕イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには、次のような2つの型があります。あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持にしくりますか？

1	夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だと追いつてしまう	
2	怠けていたのはいけないけれども、これからちゃんと働くのですよ、 といきめた上で、食べ物を与えてあげる	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 追 い 返 す	2 食 わべ け物 るを	3 他	4 D. K.	計
IX (1993)	K29	12	85	0	3	100 (1,833)



## § 8 政治的態度

### #8.1b 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「日本の国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成 [まかせる]	2 反対 [まかせっきりはいけない]
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 他	4 D. K.	計
VI (1978)	K 8	32	58	2	8	100 (2,032)
	K+M	33	60	3	5	101 (4,429)
VII (1983)	K 10	33	60	2	5	100 (2,256)
	M 7	32	59	3	5	99 (2,173)
VIII (1988)	K 8	30	61	4	5	100 (1,858)
IX (1993)	K 7	24	68	1	7	100 (1,833)

[参考]

#8.1 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「日本の国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成 [まかせる]	2 時、人による
3 反対 [まかせっきりはいけない]	
4 そんなにすぐれた人が出るとは考えられない	
5 その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 賛 成	2 時 、 よ 人 に	3 反 対	4 は そ で ん な い 人	5 他	6 D. K.	計
I (1953)	注) 30	43	9	38	3	0	7	100(2,254)
II (1958)	12 112	35	10	44	2	0	9	100(2,369)
III (1963)	11	29	12	47	4	1	7	100(2,698)
IV (1968)	12	30	10	51	3	1	5	100(3,033)
V (1973)	K15	23	15	51	5	1	5	100(3,055)

注) 第 I 次(1953)調査の質問文は以下のとおり。

「日本の復興のためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせた方がよい」という意見がありますが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

### #8.2e 「民主主義」はよいか

〔リスト〕あなたは、「民主主義」について、どう思いますか。このうち、あなたの意見に一番ちかいはどれですか？

1 よい	2 時と場合による	3 よくない
4 その他〔記入〕		5 D. K.

	問	1 よ い	2 時 にと よ場 る合	3 よ く な い	4 他	5 D. K.	計
III (1963)	27a	38	49	3	0	10	100(2,698)
IV (1968)	32a	38	52	3	0	7	100(3,033)
V (1973)	K35a	43	46	2	0	9	100(3,055)
VI (1978)	×						
VII (1983)	×						
VIII (1988)	×						
IX (1993)	K32a	59	33	1	0	7	100(1,833)

### #8.2f 「資本主義」はよいか

それでは、「資本主義」についてどう思いますか？

《#8.2eと同じリスト》

	問	1 よ い	2 時 にと よ場 る合	3 よ く な い	4 他	5 D. K.	計
III (1963)	27b	19	41	16	1	23	100(2,698)
IV (1968)	32b	19	42	20	1	18	100(3,033)
V (1973)	K35b	17	47	19	0	17	100(3,055)
VI (1978)	×						
VII (1983)	×						
VIII (1988)	×						
IX (1993)	K32b	21	54	14	0	11	100(1,833)

# #8.2g 「自由主義」はよいか

では、「自由主義」についてはどうですか？

《#8.2eと同じリスト》

	問	1 よ  い	2 時 にと よ場 る合	3 よ く な い	4 他	5 D. K.	計
III (1963)	27c	24	43	12	1	20	100(2,698)
IV (1968)	32c	29	44	13	1	13	100(3,033)
V (1973)	K35c	30	44	10	0	16	100(3,055)
VI (1978)	×						
VII (1983)	×						
VIII (1988)	×						
IX (1993)	K32c	34	47	9	0	10	100(1,833)

# #8.6 選挙への関心

[リスト] あなたは衆議院の総選挙があるとき、ふつうはどうしますか？

1	なにをおいても投票する	
2	なるべく投票するようにつとめる	
3	あまり投票する気にならない	
4	ほとんど投票しない	
5	その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 な てに もを 投お 票い	2 な る べ 投く 票	3 すあ なる ら気 い	4 投ほ 票と しん 投な 票	5 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	34 134	62	32	3	2	1		100 (2, 369)
III (1963)	33	53	41	4	1	1		100 (2, 698)
IV (1968)	38	51	44	4	1	0		100 (3, 033)
V (1973)	K39	41	50	6	2	0	1	100 (3, 055)
VI (1978)	M18	45	47	5	3	0	0	100 (1, 913)
VII (1983)	M31	39	48	9	3	0	0	99 (2, 173)
	K+M	34	50	10	5	0	0	99 (3, 682)
VIII (1988)	K28	32	52	10	6	0	0	100 (1, 858)
	M21	36	49	10	5	0	0	100 (1, 824)
IX (1993)	K31	40	50	7	3	0	0	100 (1, 833)

## #8.7 支持政党

あなたは何党を支持していらっしゃいますか？

1 自民党	2 社会党	3 新生党	4 公明党
5 日本新党	6 民社党	7 共産党	8 新党さきがけ
9 社会民主連合	10 その他の政党〔記入〕		
11 支持政党なし			12 D. K.

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
		自	社	新	公	日	民	共	新	社	新	そ	支	D	
	問	民	会	生	明		社	産	さ	民	由	他	政	・	
						新			き	主	ク	の	党		
		党	党	党	党	党	党	党	が	連	ラ	政	な	K	
									け	合	ブ	党	し		
I (1953)	58	41	23	-	-	-	-	0	-	-	-	5	19	12	100(2,254)
II (1958)	35 135	38	31	-	-	-	-	0	-	-	-	1	20	10	100(2,369)
III (1963)	35	43	22	-	2	-	3	0	-	-	-	1	22	7	100(2,698)
IV (1968)	39	41	22	-	4	-	4	2	-	-	-	2	21	4	100(3,033)
V (1973)	K+M	33	17	-	4	-	3	3	-	-	-	2	33	5	100(4,594)
	K40	35	17	-	4	-	3	3	-	-	-	2	31	5	100(3,055)
	M28	30	17	-	3	-	2	3	-	-	-	1	37	7	100(1,539)
VI (1978)	K+M	34	14	-	4	-	3	3	-	-	1	2	34	5	100(3,945)
	K31	35	14	-	4	-	3	2	-	-	1	2	34	5	100(2,032)
	M26	34	14	-	5	-	2	3	-	-	2	2	33	5	100(1,913)
VII (1983)	K+M	39	13	-	4	-	4	3	-	0	1	1	32	4	101(4,429)
	K	39	12	-	5	-	4	3	-	0	0	1	33	3	100(2,256)
	M	39	13	-	4	-	4	3	-	0	1	1	31	4	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	36	14	-	3	-	2	2	-	0	-	1	38	4	100(3,682)
	K	36	14	-	3	-	2	2	-	0	-	1	39	3	100(1,858)
	M	36	15	-	4	-	2	2	-	0	-	1	36	4	100(1,824)
IX (1993)	K+M	27	9	5	3	6	1	1	1	0	-	0	41	4	98(3,738)
	K39	29	8	5	4	6	1	1	1	0	-	0	41	4	100(1,833)
	M33	25	10	6	3	6	2	2	1	0	-	0	42	3	100(1,905)

注) 第Ⅰ次調査では、1:自民党と改進黨、2:左右社会党

## #8.9 社会不満の表し方

〔リスト〕 仮りに、あなたが社会に対して不満があるとします。その場合、あなたはどのような態度をとりますか？

1	選挙で投票するときに、考慮する	
2	合法的な陳情、署名あつめ、デモ、ストライキなどをする	
3	場合によっては、非合法の手段をとることもありうる	
4	たとえ不満があっても、別になにもしない	
5	その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 選挙 で 考 慮	2 合 法 的 に	3 場 合 に 非 合 法 も	4 な に も し ない	5 他	6 D. K.	計
VI(1978)	M24	37	15	4	38	1	5	100(1,913)
VII(1983)	×							
VIII(1988)	M22	42	6	3	46	1	3	101(1,824)
IX(1993)	M21	49	7	5	34	0	5	100(1,905)

## #8.10 福祉国家の是非

〔リスト〕 福祉国家について、次の2つの意見があります。あなたの意見はどちらに近いですか？

1	福祉国家は生活が保障されて、みんなが安心して暮らせる	
2	福祉国家は、怠け者が得をして、真面目に働く人が損をする	
3	その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 安 暮心 らし せて る	2 真 働面 く目 人に 損	3 他	4 D. K.	計
IX(1993)	K33	78	15	1	6	100(1,833)

### #8.11 憲法改正に賛成か

憲法改正が問題になることがあります。あなたは、いま、憲法を改正することに賛成ですか、それとも、反対ですか？

1 賛成	
2 反対	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 他	4 D. K.	計
IX(1993)	M 9	43	26	4	28	101(1,905)

### #8.80 国家目標

〔リスト〕わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何が最も重要だと思いますか？

1 国家の秩序を維持すること	
2 重要な政策を決める時、人々にもっと発言させること	
3 物価の上昇をくいとめること	
4 言論の自由を守ること	
5 その他〔記入〕	6 D. K.

〔○は1つだけつける〕

	問	1 国 家 の 維 持 序	2 人 政 々 策 に 決 定 言 時	3 物 く 価 上 昇 と 昇 め	4 言 論 の 守 自 由	5 他	6 D ・ K	計
IX(1993)	K34	23	40	23	6	1	8	101(1,833)



## § 9 日本人・人種

### #9.6 日本人・西洋人の優劣

日本人は西洋人とくらべて、ひとくちでいえばすぐれていると思いますか、それとも劣っていると思いますか？

1 すぐれている	2 劣っている
3 同じだ	4 ひとくちではいえない
5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 すぐ れて いる	2 劣 っ て い る	3 同 じ だ	4 い ひ え と な く い ち で は	5 他	6 D. K.	計
I (1953)	25	20	28	14	21	2	15	100(2,254)
II (1958)	×							
III (1963)	30	33	14	16	27	1	9	100(2,698)
IV (1968)	35	47	11	12	21	1	8	100(3,033)
V (1973)	K16	39	9	18	26	1	7	100(3,055)
VI (1978)	×							
VII (1983)	K11	53	8	12	21	2	5	101(2,256)
VIII (1988)	×							
IX (1993)	K17	41	6	27	20	0	5	99(1,833)

# #9.12 日本の「科学技術の水準」

- a 現在の日本は「科学技術の水準」という点では、つぎの4つのどれに当たると思いますか？

1 非常によい	2 ややよい	3 ややわるい
4 非常にわるい	5 その他〔記入〕	6 D. K.

	問	1 非 よ常 いに	2 やや よや いに	3 わや るや いに	4 わ非 る常 いに	5 他	6 D. K.	計
V (1973)	M25a	33	49	6	2	0	10	100(1,539)
VI (1978)	M22a	37	48	5	1	1	8	100(1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27a	43	45	4	1	0	7	100(1,824)
IX (1993)	M28a	46	43	3	0	0	7	99(1,905)

## #9.12b 日本の「芸術」

- b では、「芸術」という点では、日本はどれでしょうか？

	問	1 非 よ常 いに	2 やや よや いに	3 わや るや いに	4 わ非 る常 いに	5 他	6 D. K.	計
V (1973)	M25b	14	48	16	3	1	18	100(1,539)
VI (1978)	M22b	18	53	12	2	1	14	100(1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27b	12	47	24	4	1	12	100(1,824)
IX (1993)	M28b	14	54	19	2	0	11	100(1,905)

# #9.12c 日本の「経済力」

c では、「経済力」という点では、日本はどれでしょうか？

	問	1 非 よ常 いに	2 や よや いに	3 わや るや いに	4 わ非 る常 いに	5 他	6 D. K.	計
V (1973)	M25c	25	42	19	5	1	8	100 (1, 539)
VI (1978)	M22c	24	43	19	5	0	9	100 (1, 913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27c	42	40	10	2	0	6	100 (1, 824)
IX (1993)	M28c	33	46	14	3	0	4	100 (1, 905)

# #9.12d 日本の「生活水準」

d では、「生活水準」という点では、日本はどれでしょうか？

	問	1 非 よ常 いに	2 や よや いに	3 わや るや いに	4 わ非 る常 いに	5 他	6 D. K.	計
V (1973)	M25d	10	42	32	10	1	5	100 (1, 539)
VI (1978)	M22d	11	52	25	7	1	4	100 (1, 913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27d	17	56	19	3	1	4	100 (1, 824)
IX (1993)	M28d	16	58	20	2	0	3	99 (1, 905)

# #9.12e 日本の「心の豊かさ」

e では、「心の豊かさ」という点では、日本はどれでしょうか？

	問	1 非 よ常 いに	2 や よや いに	3 わや るや いに	4 わ非 る常 いに	5 他	6 D.K.	計
V (1973)	M25e	6	33	40	14	1	6	100(1,539)
VI (1978)	M22e	6	39	37	11	2	5	100(1,913)
VII (1983)	×							
VIII (1988)	M27e	4	34	41	14	0	5	98(1,824)
IX (1993)	M28e	4	37	43	11	0	5	100(1,905)

# #9.14 外国人との結婚

もし自分の子供が、「外国人と結婚したい」と言ったとしたら、あなたは、賛成しますか、それとも、反対しますか？

1 賛成する	2 反対する
3 場合による	4 その他〔記入〕
	5 D. K.

	問	1 賛 成 す る	2 反 対 す る	3 場 合 に よ る	4 他	5 D.K.	計
VIII (1988)	M 3	29	36	28	4	2	99(1,824)
IX (1993)	M 3	30	34	31	2	3	100(1,905)

### #9.15 外国旅行の経験

あなたは、これまでに、外国に行ったことがありますか？

1 行ったことがある	
2 行ったことはない	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 行 っ た あ こ り と	2 行 っ た な こ し と	3 他	4 D. K.	計
VIII(1988)	M 4	28	72	1	0	101(1,824)
IX(1993)	M 4	38	61	0	0	99(1,905)

### #9.16 国際貢献

〔リスト〕 これからの日本について、つぎの2つの意見があります。あなたの気持はどちらに近いですか？

1 自分たちの生活水準が多少落ちても、外国を助けるべきだ	
2 まだまだ自分たちの生活水準を上げることを考えるべきだ	
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 外 国 助 け る	2 生 活 上 水 げ 準 る	3 他	4 D. K.	計
IX(1993)	M29	35	57	1	6	99(1,905)

### #9.17 地球環境

〔リスト〕 地球環境と自分たちの生活との関係について、つぎの2つの意見があります。あなたの気持はどちらに近いですか？

- |   |   |         |
|---|---|---------|
| 1 | 自分たちの生活が今より多少不便になっても、地球環境を守るために、ひとりひとりが努力すべきだ |         |
| 2 | まだまだ自分たちの生活を、より便利にすることを考えるべきだ                 |         |
| 3 | その他〔記入〕                                       | 4 D. K. |

	問	1 ひひ とと りり 努 力	2 生自 活分 便た 利ち にの	3 他	4 D. K.	計
IX (1993)	M30	79	17	0	4	100 (1,905)

### III 調查項目一覽表

調査項目一覧表

(全国調査のみ)

§	項 目		全 国										ページ	
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)	IX (1993)			
§ 1	1.1	性	1	1 101	性	性	性 性	性 性	性 性	性 性	性 性	性 性	27	
	1.2	年 齢	1	1 101	年齢	年齢	年齢 年齢	年齢 年齢	年齢 年齢	年齢 年齢	年齢 年齢	年齢 年齢	27	
	1.2b	婚姻・子	56	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
	1.3	学 歴	55	32a 132a	学歴	学歴	学歴 M29	学歴 学歴	学歴 学歴	学歴 学歴	学歴 学歴	K40 M34	28	
	1.4	職 業	57	31a 131a	職業	職業	- -	職業 職業	職業 職業	職業 職業	- -	- -		
	1.4*	職 業 《1.4をカテゴリー》	-	- -	-	-	職業 M30	- -	- -	- -	- -	- -		
	1.4b	職 業	-	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	職業a 職業a	- -		
	1.4c	職 業	-	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	職業b 職業b	K41b M35b	29	
	1.4d	勤務形態	-	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	K41a M35a	30	
	1.5	住所の市区郡別											31	
目	1.6	住所の地方別	) サンプリング台帳より										32	
	1.7	おくに（生まれ）	-	33 133	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
	1.8	帰属階層	-	- -	-	-	- -	- -	X33 M30	K32 M23	K37 M22		33	
	1.9	所有（財産）	-	- -	-	-	- -	- -	所有 所有	所有 所有	K38 M32		34	
	1.10	新聞よむか	52	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
	1.10b	ラジオのニュースきくか	53	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
	1.10c	映画みるか	54	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
	1.30	騒 音	-	- -	-	-	-	-	-	M29	- -	- -		
	§ 2	2.1	しきたりに従うか	4	7 107	7	8	K11 -	K6 -	K6 M5	K7 -	K6 -	-	35
		2.2	反対をおしきって 実行	-	27 127	19	21	K27 -	- -	- -	- -	- -	- -	
2.2b		スジかまるくか	-	- -	-	-	- -	X13 -	K27 -	K25 -	K28 -	-	36	
2.3		幸福か	-	20 -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
2.3b		住所に満足か	2	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -		
2.3c		家庭に満足か	-	- -	-	-	M9a -	M5a -	K32a -	- -	- M20c		36	
2.3d		社会に満足か	-	- -	-	-	M9b -	M5b -	K32b M19	K31b M20b	- M20a		37	
2.3f		生活環境に満足か	-	- -	-	-	- -	- -	M12 -	- -	- -	- -		



人   
---

§	項 目		全 国									ページ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)	IX (1993)	
§ 2 個 人 的 態 度 ( つ づ き )	2.30g	不安感 原子力施設の事故	-	-	-	-	-	-	-	M25g	-	-
	2.31a	関心度 定年後	-	-	-	-	-	-	-	-	M26a	-
	2.31b	余暇	-	-	-	-	-	-	-	-	M26b	-
	2.31c	株	-	-	-	-	-	-	-	-	M26c	-
	2.31d	科学技術	-	-	-	-	-	-	-	-	M26d	-
	2.31e	防衛問題	-	-	-	-	-	-	-	-	M26e	-
	2.32a	社会への関心度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27a
	2.32b	内面的生き方	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27b
	2.32c	自分と家族	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27c
	2.32d	自分と友人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27d
	2.32e	自分と隣人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27e
	2.32f	自分と職場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27f
	2.32g	自分と国家	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27g
	2.32g	自分と国際社会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27g
	2.80a	病気 頭痛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25a
§ 3 宗 教	2.80b	背中の痛み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25b
	2.80c	いらいら	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25c
	2.80d	うつ状態	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25d
	2.80e	不眠症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M25e
	3.1	宗教を信じるか	-	16a	-	28a	33a	K19a	-	K11a	-	K15a
	3.1b	宗教名	-	16b	-	28a	33a	K19a	-	-	-	-
	3.1c	(宗教)していること	-	-	-	28a	33a	K19a	-	-	-	-
	3.2	「宗教心」は大切か	-	16c	-	28b	33b	K19b	-	K11b	-	-
	3.2b	「宗教心」は大切か	-	-	-	-	-	-	-	K15b	-	K13b
	3.3	宗教は1つか	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-
宗 教	3.4	人々の宗教への態度	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.5	「あの世」を信じるか	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-

教	3.6	宗教か科学か	37	-	-	-	-	-	-	-	K29	-	-	-	-	-
	3.7	性善・性悪	46	-	-	-	-	X36	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.8	自殺やむをえぬか (板ばさみ)	21の1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.8b	〃 (生活苦)	21の2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.9	首相の伊勢参り	14(15)	-	110	10	11	X14	-	X7	-	-	M6	X9	-	X8
	3.9*	首相の伊勢参り 《3.9の答を整理》	-	-	-	-	-	M4	-	-	-	-	-	-	-	-
	3.9b	首相の伊勢参り 《3.9の答を変更》	-	-	-	-	-	-	-	M19	-	-	-	-	-	-
S 4.1	4.1	子供を使いに出す とき	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.2	水鉄砲に注意	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.3	弟のわがまま	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.4	先生が悪いことを した	9	6	-	4	4	X5	-	K4	-	K4	-	K5	-	K4
	4.4b	ウッソー先生のうわ き話	-	-	-	-	-	M7a	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.4c	ウッソーつき合い	-	-	-	-	-	M7b	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.4d	ウッソー国内の混乱	-	-	-	-	-	M7c	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.5	子供に「金は大切」 と教える	24の1 (2)	-	-	5	5	X6	-	X5	-	X5	M4	X6	-	X5
	4.5*	子供に「金は大切」 と教える 《4.5を2項選択に》	-	-	-	-	-	M10	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.6	子供に「メンツは 大切」と教える	24の3	-	-	-	-	X8	-	-	-	-	-	-	-	-
子 供	4.7	子供に自由と規律	24の4	-	-	-	6	X7	-	-	-	-	-	-	-	-
	4.13	就職のとき	-	-	-	-	-	M15a	-	M12a	-	-	-	M13a	-	-
	4.13b	嫁入りのとき	-	-	-	-	-	M15b	-	M12b	-	-	-	M13b	-	-
	4.14	子供の雑誌売り	-	-	-	-	-	-	-	M3	-	-	-	-	-	-
	4.15	親もテレビに出す べきか	-	-	-	-	-	-	-	M15	-	-	-	-	-	-

S	項 目		全 国										ページ
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)	IX (1993)		
S 4.2 家	4.8	結婚式・葬式盛大に	17(18)	- 109	9	10	K13 -	- -	- -	- -	- -	- -	57
	4.8*	結婚式に金をかける 【4.8a問・答と変更】	-	- -	-	-	- M3	- -	- -	- -	- -	- -	
	4.9	本家・分家を考えるか	-	- 105	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	4.10	他人の子供を養子にするか	28の1 (3)	- 106	2	2	K3 -	K3 -	- M3	K2 -	K2 -	- -	58
	4.10b	親類の子供を養子にするか	28の2	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	4.11	先祖を尊ぶか	3	- -	-	-	K20 -	K10 -	K14 -	K12 -	K11 -	- -	
	4.12	有名人の息子のチンドン屋	12(13)	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	59
	4.30	家庭はくつろぐ場所	-	- -	-	-	- -	- -	- M9	- -	- -	- -	
	4.31	家事や子供の世話	-	- -	-	-	- -	- -	- M10	- -	- -	- -	
	4.32	離婚すべきでないか	-	- -	-	-	- -	- -	- M11	- -	- -	- -	
4.33	お盆は親族で	-	- -	-	-	- -	- -	- -	- -	- -	K24 -		
S 5 身 近 な	5.1	恩人がキトクるとき	41	- 111a	13a	15a	K21a -	K15a -	K16a M16a	K14a -	K18a -	- -	60
	5.1*	恩人がキトクるとき 【5.1a問・答と変更】	-	- -	-	-	- M17a	- -	- -	- -	- -	- -	
	5.1b	親がキトクるとき	42	- 111b	13b	15b	K21b -	K15b -	K16b M16b	K14b -	K18b -	- -	61
	5.1b*	親がキトクるとき 【5.1b問・答と変更】	-	- -	-	-	- M17b	- -	- -	- -	- -	- -	
	5.1c1	入社試験（親戚）	-	- -	20a	22a	K28a M16a	K21a -	K22a M21a	K21a -	K25a -	- -	63
	5.1c2	入社試験（恩人の子）	-	- -	20b	22b	K28b M16b	K21b -	K22b M21b	K21b -	K25b -	- -	
	5.1d	大切な道徳	-	- -	17	20	K26 -	K18 -	K19 -	K17 -	K21 -	- -	66
	5.1e	「親孝行」戦前との比較	-	- -	18a	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	5.1f	「恩返し」戦前との比較	-	- -	18b	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	5.1g	「権利尊重」戦前との比較	-	- -	18c	-	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

[illegible]

S	項 目		全 国									ページ				
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)	IX (1993)					
身近な社会（つづき）	5.20c	「宗教的な心」は大切か	-	-	-	-	-	M24c	-	-	-	-	-	-		
	5.20d	「国を愛するということ」は大切か	-	-	-	-	-	M24d	-	-	-	-	-	-		
	5.20e	「先祖をととうぶこと」は大切か	-	-	-	-	-	M24e	-	-	-	-	-	-		
	5.20f	「親孝行」は大切か	-	-	-	-	-	M24f	-	-	-	-	-	-		
	5.20g	「恩返し」は大切か	-	-	-	-	-	M24g	-	-	-	-	-	-		
	5.20h	「お金」は大切か	-	-	-	-	-	M24h	-	-	-	-	-	-		
	5.21	課長の選挙違反	-	-	-	-	-	-	M14	-	-	-	-	-		
	5.22	金か人間のつながりか	-	-	-	-	-	-	M8	-	-	-	-	-		
	5.23	能力か功労か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M8	70		
	5.24	勤め先を変えるか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M17	70		
5.25	リーダーの条件	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M18	71			
5.81a	生活領域の重要性 家族や子供 職業や仕事 自由時間 友人、知人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M14a	71		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M14b	72		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M14c	72		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M14d	72		
S 6 男 女 の	6.1	中学校の男女共学	-	-	102	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	6.2	男・女の生まれかわり	-	-	103	1a	1a	K1a M1a	-	M1a	K1	-	K1	-	73	
	6.2b	男・女を希望	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6.2c	苦勞どちらが多いか	-	-	-	1b	1b	K1b M1b	-	M1b	-	-	-	-	-	
	6.2d	楽しみどちらが多いか	-	-	-	1c	1c	K1c M1c	-	M1c	-	-	-	-	-	
	6.2e	男の子と女の子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M2	-	M2	74
	6.3	女は家庭か世間か	-	-	104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



S	項 目		全 国									ページ					
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)	IX (1993)						
S 7	7.13c	法律の精神	-	-	22	27	K30	-	-	-	-	-	-				
	7.13d	行為か動機か	-	-	-	-	-	K9	-	-	-	-	-				
	7.14	客がない車中の タバコ	-	122 <sup>a</sup> <sub>b</sub>	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	7.15	労組をつくるのは よいか	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	7.16	事故と社長	-	-	-	-	-	M13	-	M16	-	-	-				
	7.18	人間の健康の面は よくなるか	-	-	-	-	-	M27a	-	M25a	-	-	-				
	7.18b	心のやすらかさは ますか	-	-	-	-	-	M27b	-	M25b	-	-	-				
	7.18c	人間の自由はふえ るか	-	-	-	-	-	M27c	-	M25c	-	-	-				
	7.18d	生活は豊かになるか	-	-	-	-	-	M27d	-	M25d	-	-	-				
	7.18e	幸福になるか	-	-	-	-	-	M27e	-	M25e	-	-	-				
一	7.19	才能か運か	-	-	-	-	-	-	M2	-	-	M6	M6	79			
	7.20	自分の責任か	-	-	-	-	-	-	M11a	-	-	-	K23	-	80		
	7.21	金を貰えばわるい 気はしないか	-	-	-	-	-	-	M4a	-	-	-	-	-			
	7.21b	金があれば墮落す るか	-	-	-	-	-	-	M4b	-	-	-	-	-			
	7.21c	かせいだ金と幸運 の金	-	-	-	-	-	-	M4c	-	-	-	-	-			
	7.21d	金にきょうめん	-	-	-	-	-	-	M4d	-	-	-	-	-			
	7.21e	無理して金をかせ ぐか	-	-	-	-	-	-	M4e	-	-	M16a	-	-			
	7.22	万事金か	-	-	-	-	-	-	M11b	-	-	M16b	-	-			
	7.23	事故と先生—本人 の意見	-	-	-	-	-	-	M13a	K28a	-	K26a	-	-	-		
	7.23b	事故と先生—一般 の親は	-	-	-	-	-	-	M13b	K28b	-	K26b	-	-	-		
股	7.24	就職の第1の条件	-	-	-	-	-	-	K24a	-	K25	M23	K24	M17	-	M16a	81



[illegible]

S	項 目		全 国										ページ				
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)	IX (1993)						
§ 8 政	8.1	政治家にまかせるか	30	12 112	11	12	K15	-	-	-	-	-	-	-	86		
	8.1*	政治家にまかせるか	-	-	-	-	-	M8	-	-	-	-	-	-			
	8.1b	政治家にまかせるか 《8.1の質問文と 8.1*の答》	-	-	-	-	-	-	K8	-	K10 M7	K8	-	K7		-	
治	8.2	「民主主義」はよい 感じか	-	-	123a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8.2b	「資本主義」はよい 感じか	-	-	123b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8.2c	「自由主義」はよい 感じか	-	-	123c	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8.2d	「社会主義」はよい 感じか	-	-	123d	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8.2e	「民主主義」はよい か	-	-	-	27a	32a	K35a	-	-	-	-	-	K32a	-	88	
	8.2f	「資本主義」はよい か	-	-	-	27b	32b	K35b	-	-	-	-	-	-	K32b	-	88
的	8.2g	「自由主義」はよい か	-	-	-	27c	32c	K35c	-	-	-	-	-	-	K32c	-	89
	8.2h	「社会主義」はよい か	-	-	-	27d	32d	K35d	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.2i	「共産主義」はよい か	-	-	-	-	-	K35e	-	-	-	-	-	-	-	-	
態	8.2j	「全体主義」はよい か	-	-	-	-	-	K35f	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.3	科学者と政治	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.3b	専門の研究と政治	43	-	-	24	29	K32	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.4	校長の礼服	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.4b	校長の礼服	-	-	-	-	3	K4	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.5	社会問題への関心	-	30a 130a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.6	選挙への関心	-	34 134	33	38	K39	-	-	M18	-	M31	K28 M21	K31	-	90	
	8.7	支持政党	58	35 135	35	39	K40	M28	K31	M26	K支持 M支持	K支持 M支持	K支持 M支持	K39 M33	-	91	
	8.8	社会は変えるべきか	-	-	-	-	-	-	K26	-	-	-	-	-	-	-	

[illegible]

## 『国民性の研究 第9回全国調査』 正誤表

No.	頁	行	誤	正
1	26	↑6~2	したがって、全選択肢の…注意されたい。 →	第6次までの結果数値(%)は『第5 日本人の国民性』(出光書店)の数値を再録した。この数値は%の合計が100になるよう調整されている。しかし、第7次以降の数値はこの調整が行なわれていない。(過去の研究レポート等の中には、調整法が違いため、第6次までの%がわずかに異なる場合があるので注意されたい。)
2	27	↑3	…7 7 8 9 12 12 10 10 10 7 8…	→ 8 7 8 9 13 11 10 10 10 7 7
		↑2	…7 8 8 9 12 12 10 10 10 7 8…	→ 8 8 8 9 13 11 10 9 10 6 7
		↑1	…7 6 9 9 12 12 10 10 10 7 8…	→ 8 7 9 9 12 11 10 10 10 7 7
3	28	↑2	99(1,833)	100(1,833)
4	28	↑1	101(1,905)	100(1,905)
5	29	↑7	…7 12 5 7 17…	…7 12 5 6 17…
6	29	↑7	102(3,738)	101(3,738)
7	29	↑6	100(1,833)	101(1,833)
8	47	↑10	c では、「日本の…	e では、「日本の…
9	64	↓2	…2 番になったが…	…2 番になったのが…
10	65	↑7	102(1,539)	101(1,539)
11	73	↑12	100(1,833)	100( 836)
12	73	↑1	99(1,833)	99( 997)
13	74	↑2	100( 888)	101( 888)
14	91	↑1	注)… 1: 自民党と …	… 1: 自由党と …

Research      Report  
General Series No. 75

# A STUDY OF THE JAPANESE NATIONAL CHARACTER

— THE NINTH NATIONWIDE SURVEY —

Research Committee  
on the Study of the Japanese National Character

TÔKEI SÛRI KENKYÛZYO

Institute of Statistical Mathematics  
4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku  
Tokyo, Japan 106